

# 平成 23 年度 外部評価実施結果報告書

## 【計画事業評価】

～ 「新しい計画評価の文化」  
の共有と定着に向けて～

平成 23 年 8 月

新宿区外部評価委員会

## はじめに

新宿区外部評価委員会は、平成19年9月に現在のメンバーでスタートし、すでに4年にわたり活動を続けている。そもそも外部評価委員会は、その直前に多くの区民の参画で策定された「新宿区総合計画」を、その後の計画の実施プロセスについても区民がチェックできるようにという発想から発足したものである。

この間、今回を含めて5年分の外部評価結果報告書を区長に提出している。活動当初は、メンバーすべてが初めての経験だったため、他自治体の事例を参考にしながら進めていたが、新宿区のように4年という長い期間継続して外部評価に取り組んでいる自治体はほとんどないということが次第にわかり、その後は独自の考え方でここまで進めてきた。したがって、その成果には若干の不安を持ちながらも、新宿区ならではの個性的な内容になっているのではないかとの自負もある。

さて今年度は、例年のような前年度の内部評価に対する単年度の事業評価に加えて、平成24年度には総合計画に基づく第二次実行計画がスタートするため、平成20～23年度事業全体の総合評価を改めて行い、第二次実行計画の方向性（平成23年6月の内部評価）に対する意見も加えたものとなっている。これまでは外部評価委員会の指摘に対して、第一次実行計画という枠組みの中ですぐには変更できないという回答があったが、今回は第二次実行計画の策定という大きな見直しの時期になっているので、委員会としては大胆な改訂を期待しているところである。特に、東日本大震災という大きな事象を踏まえた見直しは多くの区民が共感するところである。是非、変えることに勇気を持って進めて欲しい。

新宿区外部評価委員会報告書には、平成20年度から「新しい計画評価の文化の共有と定着に向けて」という副題がついている。評価という概念を単に批判するというのではなく、将来に向けた創造ととらえたいという委員全員の思いが込められたものなのである。関係職員の方々にはその意味をぜひご理解いただき、新宿区政が今後さらに区民本位に進められることを多いに期待したい。

新宿区外部評価委員会  
会長 卯月盛夫

## 目 次

---

### 第1章 新宿区外部評価委員会の概要

1	新宿区外部評価委員会の役割・構成	1
2	評価活動の経過	3
3	評価の対象	6
4	計画事業の評価の視点	9
5	第二次実行計画の方向性（平成23年6月現在の内部評価）に対する意見の考え方	10

### 第2章 計画事業の評価結果

1	計画事業評価結果の見方	11
2	計画事業の評価結果	
	《まちづくり編》	
	個別目標Ⅰ－1 参画と協働により自治を切り拓くまち	12
	計画事業 2～3	
	個別目標Ⅰ－2 コミュニティの活性化と地域自治を推進するまち	14
	計画事業 4～5	
	個別目標Ⅱ－1 一人ひとりが個人として互いに尊重しあうまち	16
	計画事業 7～9	
	個別目標Ⅱ－2 子どもの育ち・自立を地域でしっかり応援するまち	19
	計画事業 10～13	
	個別目標Ⅱ－3 未来を担う子どもの、一人ひとりの生きる力を育むまち	22
	計画事業 14～20, 130	
	個別目標Ⅱ－4 生涯にわたって学び、自らを高められるまち	28
	計画事業 21, 23～24	
	個別目標Ⅱ－5 心身ともに健やかにさせるまち	30
	計画事業 25～26, 28～29, 137	
	個別目標Ⅲ－1 だれもが互いに支え合い、安心してらせるまち	33
	計画事業 30～31, 33～35, 131	
	個別目標Ⅲ－2 だれもがいきいきとくらし、活躍できるまち	37
	計画事業 36～41	
	個別目標Ⅲ－3 災害に備えるまち	41
	計画事業 42～47, 138	
	個別目標Ⅲ－4 日常生活の安全・安心を高めるまち	46
	計画事業 48～49	
	個別目標Ⅳ－1 環境への負荷を少なくし、未来の環境を創るまち	48
	計画事業 50～54, 139	

個別目標Ⅳ－２	都市を支える豊かな水とみどりを創造するまち・・・	53
	計画事業	55, 57～60
個別目標Ⅳ－３	人々の活動を支える都市空間を形成するまち・・・	56
	計画事業	61～71
個別目標Ⅴ－１	歴史と自然を継承した美しいまち・・・	63
	計画事業	72
個別目標Ⅴ－２	地域の個性を活かした愛着をもてるまち・・・	64
	計画事業	73
個別目標Ⅴ－３	ぶらりと道草したくなるまち・・・	65
	計画事業	75
個別目標Ⅵ－１	成熟した都市文化が息づく、魅力豊かなまち・・・	66
	計画事業	76, 78
個別目標Ⅵ－２	新宿ならではの活力ある産業が芽吹くまち・・・	68
	計画事業	80～81
個別目標Ⅵ－３	ひと、まち、文化の交流が創るふれあいのあるまち・・・	70
	計画事業	82～86
《区政運営編》		
個別目標Ⅰ－１	窓口サービスの利便性の向上・・・	74
	計画事業	89
個別目標Ⅰ－２	区民参画の推進と効果的・効率的な事業の遂行・・・	75
	計画事業	92
個別目標Ⅰ－３	分権を担える職員の育成と人事制度等の見直し・・・	76
	計画事業	95～96
個別目標Ⅱ－１	公共サービスの提供体制の見直し・・・	78
	計画事業	99～101, 104～106
個別目標Ⅱ－２	施設のあり方の見直し・・・	82
	計画事業	107, 116, 121, 129

### 第3章 今後のあり方

1	計画事業の評価を通じて浮かび上がった課題と委員の意見・・・	84
2	第二次実行計画策定に向けて・・・	85

#### <資料>

1	新宿区外部評価委員会委員名簿・・・	89
2	新宿区外部評価委員会条例・・・	90

# 第1章 新宿区外部評価委員会の概要

## 1 新宿区外部評価委員会の役割・構成

### (1) 委員会設置の経緯と役割

新宿区外部評価委員会（以下「外部評価委員会」という。）は、平成19年2月の新宿区基本構想審議会答申における「区民と専門家等によるチェックのしくみの早期創設の提案」を受け、平成20年度からの新宿区基本構想（以下、「基本構想」という）、新宿区総合計画（以下「総合計画」という。）と新宿区第一次実行計画（以下、「第一次実行計画」という。）の進行管理を行うため、平成19年9月、区長の附属機関として、新たに設置されたものである。

また、本委員会により、行政評価の客観性及び透明性を高めるとともに、区民の行政評価に対する参画の機会を確保していくものである。

### (2) 所掌事務

◇外部評価を実施し、その評価の結果を区長に報告すること。

◇その他行政評価に関し必要な事項について、区長の諮問に応じて調査し、審議し、答申すること。

### (3) 委員会の構成

委員会は、次の15名で構成されている。

◇学識経験者3名

◇公募による区民6名

◇区内各種団体の構成員6名

### (4) 部会の設置

調査及び審議の効率的な運営を図るため、次の3つの部会を置いた。

第1部会：まちづくり・環境・みどり

第2部会：福祉・子育て・教育・くらし

第3部会：自治・コミュニティ・文化・観光・産業

## (5) 評価の流れ

区が実施する行政評価には、各部経営会議からなる評価委員会が実施する内部評価と外部評価委員会が実施する外部評価があり、その流れは次のとおりである。

### ① 内部評価

各部の職員（管理職）で構成された経営会議を評価委員会として、総合計画の施策（以下「個別目標」という。）と第一次実行計画の計画事業の自己評価を行い、決算特別委員会前に公表する。

### ② 外部評価

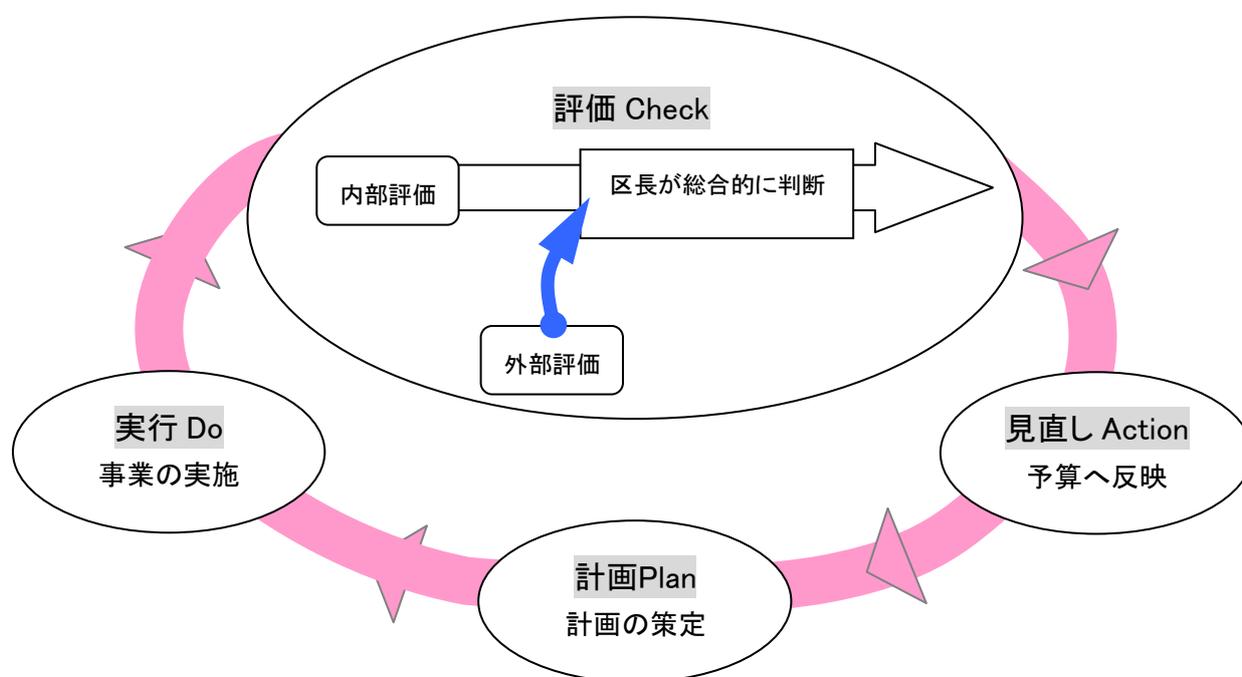
外部評価委員会は、上記①の内部評価結果を踏まえ、区民の視点から評価し、評価後、区長に報告する。

区長はその報告を公表する。

### ③ 総合判断

区長は、内部評価・外部評価それぞれに対する区民からの意見を受け付けて、総合判断を行い、予算編成に反映する。

区長はその結果を公表する。



## 2 評価活動の経過

### 【平成 19 年度】

平成 19 年度は外部評価委員会の立ち上げの年であり、評価の手法・手順など全体的な流れをつかむこととして評価を実施した。

### 【平成 20 年度】

平成 20 年度は、本格的な外部評価の実施として、平成 19 年度に外部評価を実施した対象施策を掘り下げるとともに、関連施策を抽出して 18 施策を対象に評価を実施した。さらに、補助事業については、関連する計画事業と合わせて確認した。

### 【平成 21 年度】

平成 21 年度は、平成 20 年度から始まった総合計画及び第一次実行計画に係る内部評価のうち、まちづくり編に係る個別目標及び計画事業すべての評価を行った。評価に当たっては、新宿区基本構想の理念である「新宿力」を形づくる上で、「協働」は重要な手法の一つと考えられるため、基本となる 4 つの視点のほか、「協働」を軸に評価を実施した。

### 【平成 22 年度】

平成 22 年度は、計画事業について、平成 22 年度内部評価実施結果報告書（以下「内部評価報告書」という。）のほか、平成 21 年度の外部評価結果を踏まえた区の実績について（以下、「区の実績」という。）を確認した上で、評価対象を抽出し評価を実施した。また、平成 19 年度から平成 21 年度の 3 年間の実績を踏まえた補助事業の内部評価が行われたため、外部評価委員会においても全補助事業を対象に評価を実施した。

### 【平成 23 年度】

平成 23 年度は、第二次実行計画の策定の年にあたるため、昨年までの区の実績を踏まえ、23 年度内部評価における計画事業（まちづくり編）を評価するとともに、計画事業（区政運営編）も評価することとした。

さらに、第二次実行計画（平成 24 年度～平成 27 年度）に外部評価委員会の意見を反映させるため、「第二次実行計画の方向性（平成 23 年 6 月現在の内部評価）に対する意見」（以下、「第二次実行計画の方向性への意見」という。）を付すこととした。

今年度の外部評価は、昨年度の実績を活かし、以下のような手法で評価を行い、より区民の目線に立った客観的な評価に努めた。

第一に、計画事業の評価については、過去 2 年の区の実績や内部評価報告書から、評価の掘り下げを行った。その上で、計画事業の内部評価の内容について、疑問な点をあらかじめヒアリング項目として担当課に提示し、それに対する回答や関連資料の提出を求めた。そして、それらを読み込んだ上で、計画事業の基本的な考え方、進め方、評価理由などについて確認し、再質問を行った。

第二に、第二次実行計画の方向性への意見については、内部評価報告書のほか、関係資料の提出を求め確認を行った。その上で、疑問な点をあらかじめヒアリング項目として担当課に提示し、それに対する回答や関連資料の提出を求めた。そして、それらを読み込んだ上で、再質問を行うとともに、必要に応じて追加調査を行い、第二次実行計画の方向性への意見として取りまとめた。

第三に、事業の所管課から計画事業に関する生の声をヒアリングし実態把握に努めるとともに、東日本大震災を考慮した計画事業の展望や所管課間の連携強化など、幅広い観点からヒアリングを行った。

平成 23 年度の評価結果及び第二次実行計画の方向性への意見の取りまとめにあたっては、部会ごとにまとめた上で、委員会として全体のまとめを行った。

### 【活動経過】

#### 《全体会》

	回	開催年月日	審議事項等
委 員 会	第1回	平成 23 年 4 月 25 日	1 評価方針について
	第2回	平成 23 年 5 月 16 日	1 評価方針について
	第3回	平成 23 年 8 月 4 日	1 評価の取りまとめについて
	第4回	平成 23 年 8 月 22 日	1 評価の取りまとめについて

#### 《部会》

##### [第一部会]

	回	開催年月日	審議事項等
第 1 部 会	第1回	平成 23 年 5 月 16 日	1 評価対象の抽出について
	第2回	平成 23 年 6 月 6 日	1 ヒアリング対象の抽出について
	第3回	平成 23 年 6 月 20 日	1 ヒアリングの実施 計画事業 53・66・83 担当課：みどり土木部（交通対策課） 環境清掃部（生活環境課）
	第4回	平成 23 年 6 月 27 日	1 ヒアリングの実施 計画事業 42～47、51、52、54、57～59、70、 109、110、124、138、141 担当課：区長室（危機管理課） 総合政策部（企画政策課） 都市計画部（地域整備課、建築指導課、 建築調整課） みどり土木部（道路課、みどり公園課） 環境清掃部（環境対策課）
	第5回	平成 23 年 7 月 1 日	1 評価結果の取りまとめ
	第6回	平成 23 年 7 月 15 日	1 評価結果の取りまとめ
	第7回	平成 23 年 7 月 25 日	1 評価結果の取りまとめ

[第二部会]

	回	開催年月日	審議事項等
第2部会	第1回	平成 23 年 5 月 16 日	1 評価対象の抽出について
	第2回	平成 23 年 6 月 1 日	1 指定管理者制度について 2 ヒアリング対象の抽出について
	第3回	平成 23 年 6 月 29 日	1 ヒアリングの実施 計画事業 7～9、30、36、99～101 担当課：福祉部（地域福祉課、高齢者サービス課） 子ども家庭部（男女共同参画課、子ども総合センター）
	第4回	平成 23 年 7 月 1 日	1 評価結果の取りまとめ
	第5回	平成 23 年 7 月 22 日	1 評価結果の取りまとめ
	第6回	平成 23 年 7 月 29 日	1 評価結果の取りまとめ

[第三部会]

	回	開催年月日	審議事項等
第3部会	第1回	平成 23 年 5 月 16 日	1 評価対象の抽出について
	第2回	平成 23 年 6 月 16 日	1 ヒアリング対象の抽出について
	第3回	平成 23 年 7 月 1 日	1 ヒアリングの実施 計画事業 92、95、96 担当課：総務部（人材育成等担当課） 総合政策部（行政管理課、新宿自治創造研究所担当課）
	第4回	平成 23 年 7 月 7 日	1 評価結果の取りまとめ
	第5回	平成 23 年 7 月 15 日	1 評価結果の取りまとめ
	第6回	平成 23 年 7 月 22 日	1 評価結果の取りまとめ
	第7回	平成 23 年 8 月 4 日	1 評価結果の取りまとめ

### 3 評価の対象

平成 23 年度は、計画事業（まちづくり編）について、計画事業 90 事業中 82 事業、計画事業（区政運営編）について、計画事業 45 事業中 14 事業の評価を行った。

評価の対象外とした事業は、23 年度内部評価における第二次実行計画の方向性（見込み）が「廃止・終了」とされている 12 事業、「その他（経常事業化）」とされている 15 事業、「その他（新事業移行）」とされている 2 事業及び施設の活用を検討している 10 事業である。

#### ◇第 1 部会（まちづくり、環境、みどり）

基本目標Ⅲ 安全で安心な、質の高いくらしを実感できるまち

個別目標 2 だれもがいきいきとくらし、活躍できるまち

計画事業 39～41

個別目標 3 災害に備えるまち

計画事業 42～47, 138

個別目標 4 日常生活の安全・安心を高めるまち

計画事業 48～49

基本目標Ⅳ 持続可能な都市と環境を創造するまち

個別目標 1 環境への負荷を少なくし、未来の環境を創るまち

計画事業 50～54, 139

個別目標 2 都市を支える豊かな水とみどりを創造するまち

計画事業 55, 57～60

個別目標 3 人々の活動を支える都市空間を形成するまち

計画事業 61～71

基本目標Ⅴ まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち

個別目標 1 歴史と自然を継承した美しいまち

計画事業 72

個別目標 2 地域の個性を活かした愛着をもてるまち

計画事業 73

個別目標 3 ぶらりと道草したくなるまち

計画事業 75

基本目標Ⅵ 多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち  
個別目標 3 ひと、まち、文化の交流が創るふれあいのあるまち  
計画事業 8 3

基本目標Ⅱ 公共サービスのあり方の見直し 《区政運営編》  
個別目標 2 施設のあり方の見直し  
計画事業 1 1 6, 1 2 1, 1 2 9

#### ◇第2部会（福祉、子育て、教育、くらし）

基本目標Ⅱ だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち  
個別目標 1 一人ひとりが個人として互いに尊重しあうまち  
計画事業 7～9

個別目標 2 子どもの育ち・自立を地域でしっかり応援するまち  
計画事業 1 0～1 3

個別目標 3 未来を担う子どもの、一人ひとりの生きる力を育むまち  
計画事業 1 4～2 0, 1 3 0

個別目標 4 生涯にわたって学び、自らを高められるまち  
計画事業 2 1, 2 3～2 4

個別目標 5 心身ともに健やかにくらせるまち  
計画事業 2 5～2 6, 2 8～2 9, 1 3 7

基本目標Ⅲ 安全で安心な、質の高いくらしを実感できるまち  
個別目標 1 だれもが互いに支え合い、安心してくらせるまち  
計画事業 3 0～3 1, 3 3～3 5, 1 3 1

個別目標 2 だれもがいきいきとくらし、活躍できるまち  
計画事業 3 6～3 7

基本目標Ⅱ 公共サービスのあり方の見直し 《区政運営編》  
個別目標 1 公共サービスの提供体制の見直し  
計画事業 9 9～1 0 1, 1 0 4～1 0 6

個別目標 2 施設のあり方の見直し  
計画事業 1 0 7

◇第3部会（自治、コミュニティ、文化、観光、産業）

基本目標Ⅰ 区民が自治の主役として、考え、行動していただけるまち

個別目標 1 参画と協働により自治を切り拓くまち

計画事業 2～3

個別目標 1 コミュニティの活性化と地域自治を推進するまち

計画事業 4～5

基本目標Ⅲ 安全で安心な、質の高い暮らしを実感できるまち

個別目標 2 だれもがいきいきと暮らし、活躍できるまち

計画事業 3 8

基本目標Ⅵ 多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち

個別目標 1 成熟した都市文化が息づく、魅力豊かなまち

計画事業 7 6, 7 8

個別目標 2 新宿ならではの活力ある産業が芽吹くまち

計画事業 8 0～8 1

個別目標 3 ひと、まち、文化の交流が創るふれあいのあるまち

計画事業 8 2, 8 4～8 6

基本目標Ⅰ 好感度一番の区役所の実現 《区政運営編》

個別目標 1 窓口サービスの利便性の向上

計画事業 8 9

個別目標 2 区民参画の推進と効果的・効率的な事業の遂行

計画事業 9 2

個別目標 3 分権を担える職員の育成と人事制度等の見直し

計画事業 9 5～9 6

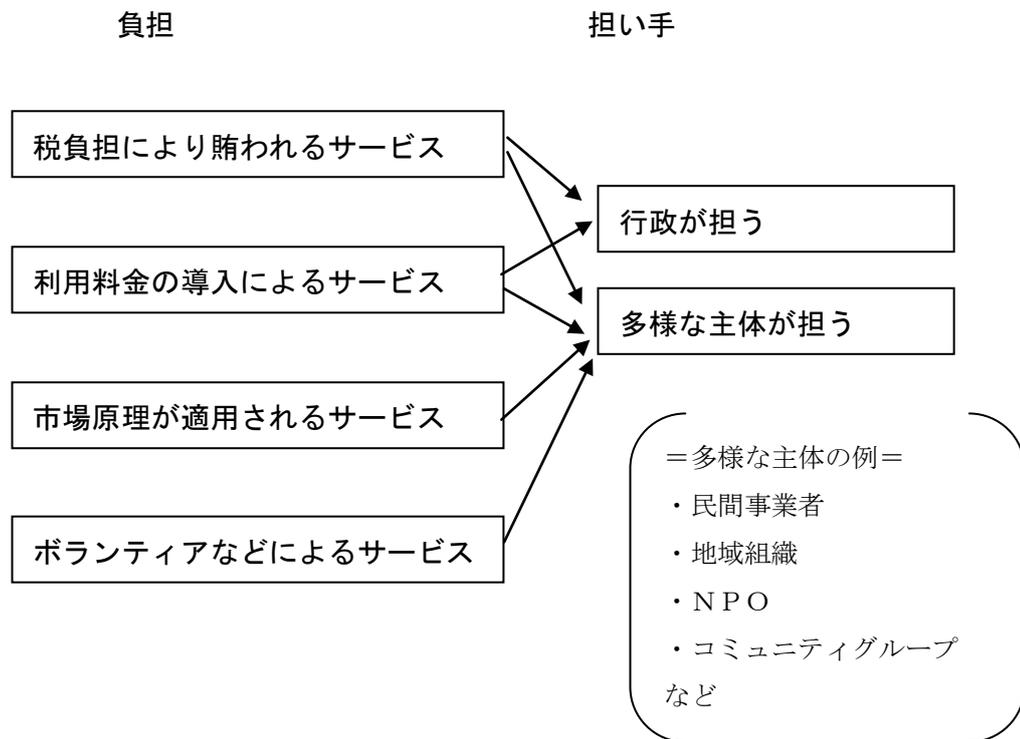
#### 4 計画事業の評価の視点

計画事業の評価に際しては、次の4つの視点を基本に、区民の目線を活かして実施した。

なお、評価区分については、内部評価で評価している区分ごとに、評価区分・評価理由を「適当である」・「適当でない」で区分した。

##### ①サービスの負担と担い手

サービスを負担と担い手の観点から分類し、適切な対応がとられているか否か。



##### ②適切な目標設定

区民ニーズを踏まえた目的・目標になっているか、指標は適切か。

##### ③効果的・効率的な視点

費用対効果という面から効果的・効率的に、行われているか。

##### ④目的の達成度

目的や意図する成果に対して、それが達成できているか、区民ニーズに込えているか。

## 5 第二次実行計画の方向性（平成 23 年 6 月現在の内部評価）に対する意見の考え方

これまで、外部評価委員会は第一次実行計画の計画事業について、内部評価を踏まえ、事業内容の確認、4つの視点に基づく評価及び総合評価、さらに様々な提言や意見を区に行ってきたところである。

今年度の内部評価には、平成 22 年度の実績に基づく第一次実行計画の評価のほか、平成 24 年度から実施される第二次実行計画の策定を行うため、第二次実行計画に向けた方向性（見込み）欄が追加され、評価結果を踏まえた第二次実行計画の策定への活用を目指している。

そのため、今年度の外部評価では、これまで実施してきた第一次実行計画の評価を踏まえつつ、平成 23 年 6 月時点での内部評価に記載された第二次実行計画に向けた方向性（見込み）を確認し、その「方向性（見込み）」と「理由（見込み）」に対して意見を付すことで、策定段階の第二次実行計画に反映させていくこととした。

## 第2章 計画事業の評価結果

第一次実行計画の事業について、区が行った内部評価を踏まえて評価した。各事業の第二次実行計画の方向性（見込み）については、内部評価に対し意見を付した。

具体的には、

- ① 内部評価の、4つの評価の視点による評価、総合評価及び最終年度に向けた方向性に対し、その内部評価が事業の目的等に照らして適当であるかどうかを評価した。
- ② 外部評価の軸とする「協働」の視点からも評価を行った。
- ③ 内部評価の、第二次実行計画の方向性及びその理由（見込み）に対し、策定段階の第二次実行計画に反映させることを目指し、意見を付した。

### 1 計画事業評価結果の見方

計画事業	番号	計画事業名				
<b>【評価】</b>						
視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的（目標水 準）の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	□ 適切 ■ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	事業拡大
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	□ 適当である ■ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない
視点	適当でないと評価する理由					
④目的（目標水 準）の達成度	※ 上記の「内部評価に対する評価」で「適当でない」としたものについては、 適当でないとした理由をこの欄に記載					

#### 《4つの視点等への意見》

○総合評価

内部評価の「総合評価」に対する意見がある場合記載

#### 《協働の視点による評価》

協働の視点（協働への取組みが具体的に見えるか、協働の効果が具体的に現れているかなど）からの評価意見がある場合記載

#### 《その他意見》

その他の意見がある場合記載

#### 【第二次実行計画の方向性（平成23年6月現在の内部評価）に対する意見】

内部評価における「〇〇」という方向性（見込み）は適当である（又は適当でない）。

※ 上段で、内部評価の「継続」「拡大」等の方向性の区分についての意見を、  
下段で、その理由や方向性についての具体的な意見を記載

内部評価の「第二次  
実行計画の方向性  
（見込み）」に対す  
る意見を記載

## 2 計画事業の評価結果

基本目標	I	区民が自治の主役として、考え、行動していけるまち
個別目標	1	参画と協働により自治を切り拓くまち

計画事業	2	特別区のあり方の見直しと自治権の拡充
------	---	--------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画以下	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない

視 点	適当でない評価する理由
①サービスの 負担と担い手	都区間協議に加え、行政サービスの受け手である区民を巻き込んだ議論を展開する必要があるのではないか。
③効果的・効 率的な視点	当初の計画から2年間の遅れが出ているため、効果的・効率的とは評価出来ない。 都に対して意思を表明するだけでなく、現状を打開する手段を検討してほしい。

### 《4つの視点等への意見》

#### ○総合評価

当初の計画から2年間遅れて進捗しており、「計画以下」との評価は妥当である。

### 《協働の視点による評価》

①の記載の通り、特別区制度改革の実施に向けて区民等との協働により努力してほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当でない。

新宿区、区民、区内団体並びに他区と連携して国や都に働きかける等の手段を模索してほしい。

計画事業	3	NPOや地域活動団体等、多様な主体との協働の推進
------	---	--------------------------

**【評価】**

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 達成度が高い <input checked="" type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

**【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】**

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は適当である。

多様な区民の活動を支援する重要な事業である。今後は区民や団体による活動を発展させるために団体の養成や育成の計画を加えてほしい。

この事業は多くの枝事業を含んでおり、その一つ一つに対する区民の関心も高い。

第二次実行計画では事業全体の成果を測るような指標やアウトカム指標を設定し、設定されたアウトカム指標が達成できるよう事業を進めてほしい。

基本目標	I	区民が自治の主役として、考え、行動していけるまち
個別目標	2	コミュニティの活性化と地域自治を推進するまち

計画事業	4	町会・自治会及び地区協議会活動への支援
------	---	---------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

### 《4つの視点等への意見》

#### ○総合評価

東日本大震災を契機として、町会をはじめとする地域コミュニティの重要性が再認識された。区民の意識が高まっている今、町会・自治会や地区協議会への支援を行う本事業の重要性もこれまで以上に高まっており、このタイミングを捉えて事業を進めていく必要がある。

事業目的の達成に向けて様々な活動を行っているとは評価するが、マンション住民の町会加入率が低いなど、問題は残っている。第二次実行計画への方向性が「手段改善」とされていることから、区としてもより効果的な手法を検討しているものと期待するが、第一次実行計画の最終年度にあたる23年度についても、改善への強い意志を持って取り組んでほしい。

### 《協働の視点による評価》

区民の活動を支援する事業であり、地域の実情に合った新しい事例を取り上げるなど積極的に動機づけしていくような手を打ってほしい。

### 《その他意見》

町会・自治会や地区協議会の規模や実行力は地域によって異なる。地域ごとの町会・自治会及び地区協議会の現状にも気を配りながら支援して行ってほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適当である。

第一次実行計画中の内部評価は、町会・自治会と地区協議会を一体的に内部評価していた。実際にはこれらは性格の違う団体であり、このことが外部評価の混乱を招いていた。第二次実行計画ではこれを踏まえ、評価項目毎に「町会・自治会」と「地区協議会」それぞれについて整理したうえで内部評価してほしい。

また、現在は地区協議会の位置づけが明確でない。条例などにより地区協議会の位置づけが明確になった時点で、別事業として展開してはいかかがか。

計画事業	5	地域を担う人材の育成と活用
------	---	---------------

**【評価】**

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 達成度が高い <input checked="" type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	手段改善
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

**《協働の視点による評価》**

地域活動・社会貢献活動を担う人材を育成するための講座を、行政が直接行うのではなく、NPOに委託するなど民間のノウハウを活用している自治体がある。これを参考に、新宿でもこのような試みを検討してほしい。

**【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】**

<p>内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適当である。</p> <p>幅広い年代の参加ということを強く意識していることは高く評価する。          次のように年代により課題を整理し、それぞれにあった対応策をとってほしい。          小中学生や高校生など10代に対しては、若いうちから地域に協力することを覚えることで、将来の地域を担う人材となっていく。          20代30代という若い働き盛りの年代に地域活動へ参加してもらうことが難しいのは承知しているが、工夫して働きかけてほしい。          いわゆる「団塊の世代」には、今後の地域活動を担ってもらう必要があることから、参画してもらえそうな取り組みに期待する。          22年度区長の総合判断でも示されたが、人材育成と人材活用が一体的に行われるように講座のあり方などを見直してほしい。</p>
---

基本目標	Ⅱ	だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち
個別目標	1	一人ひとりが個人として互いに尊重しあうまち

計画事業	7	成年後見制度の利用促進
------	---	-------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	事業拡大
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない			

### 《4つの視点等への意見》

#### ○総合評価

制度創設10年を経過し、成年後見制度の利用は年々増加傾向にある。

制度の利用支援の推進を図るため、より一層の普及啓発や相談支援に努めるほか、市民後見人の活用を進める環境づくりなど、これまで以上に踏み込んだ取組みを期待する。

### 《協働の視点による評価》

今後、高齢者人口の増加が見込まれるため、成年後見制度の必要性はますます高まる。NPO団体等も活用した市民後見人の養成を検討してはどうか。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**拡大**」という方向性(見込み)は適切である。

認知症高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活していくため、成年後見制度の支援の充実、申立経費の助成制度の創設、市民後見人の増員と養成など、拡大の方向での利用促進を期待する。

計画事業	8	男女共同参画の推進
------	---	-----------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない			

視 点	適当でないと評価する理由
最終年度に向け た方向性	<p><b>男女共同参画は時代の流れであるが、いまだに多くの分野で性別による役割分担や男女の不平等が存在している。今の手段を継続するのではなく、手段を改善していく必要がある。</b></p>

### 《4つの視点等への意見》

#### ○総合評価

男女共同参画社会の実現のためには、全ての男女が平等であり、個人として尊重されるなど啓発項目を明確にし、対象者も若年層から各年代層まで幅を広げることが重要である。そのため、目標水準の設定の見直しにあたっては、これらの達成度が目に見える形に設定するなど、より分かりやすい指標を設定してほしい。

また、総合相談新規の受付件数は目標どおりの実績ではあるが、毎年同じ数で推移しているため相談体制の充実につながっているか判断しにくい。新たな指標設定を行う際にはこの点も工夫してほしい。

### 《協働の視点による評価》

現実には難しい面もあることは承知しているが、PTAや町会・自治会などへの働きかけにより、理解と協力を求めることも必要である。

区民の生活に深く根ざした活動団体役員の男女比率が適正になるよう、啓発活動をより活発にするなど協働の取り組みを強化する意味は大きいのではないかと。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当でない。

22年度に実施した「男女共同参画意識調査」の結果を活用し、男女共同参画への意識啓発をより一層推進するため、課題を整理したうえで、区民意識の向上に向けて、抜本的な改善策も検討すべきである。

また、多くの区民が、この調査結果から何を読み取りどう考えていくかという問題意識を喚起する手法を検討してほしい。

計画事業	9	ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
------	---	---------------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 達成度が高い <input checked="" type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない			

視 点	適当でないと評価する理由
総合評価	<p>厳しい経済状況の中で、ワーク・ライフ・バランスを推進することは非常に困難であることは理解できる。また、ワーク・ライフ・バランス推進企業の認定という制度そのものが、他区にはない新しい試みであったということも評価できる。</p> <p>しかし、今までの目標の達成度も低く、今後もワーク・ライフ・バランス推進企業認定制度の実績が短期間に上昇する見込みは少ないため、計画どおりとは言えない。</p> <p>コンサルタントの派遣を希望し、認定への申請や認定に結びつく改善もあるので、地道な努力に加え、新たな取り組みにも期待する。</p> <p>今後、コンサルティングをしたことによる効果測定が必要である。</p>
最終年度に向け た方向性	<p>継続ではなく、区民へのさらなる意識啓発の視点から手段改善を検討すべきである。</p>

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

<p>内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当でない。</p> <p>地道な努力を継続しつつも手段改善を検討し、より一層ワーク・ライフ・バランスの大切さを多くの企業に理解してもらう必要がある。</p> <p>また、22年度に実施した「男女共同参画意識調査」の結果、「企業戦略としてのワーク・ライフ・バランス」の項目は「重要であると思う」という回答が半数を超えている。この結果を踏まえ、啓発活動や企業への取組支援に加え、具体的な促進につながる課題の解決策を子育て等の担当課と総合的に考えて行く必要がある。</p>
---

基本目標	II	だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち
個別目標	2	子どもの育ち・自立を地域でしっかり応援するまち

計画事業	10	保護者が選択できる多様な保育環境の整備
------	----	---------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画以上	事業拡大
内部評価に 対する評価	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない

### 《その他意見》

保護者のライフスタイルが多様化し、共働きをしながら子育てし、社会的責任を果たす生き方が広まりつつある。

男女共同参画やワーク・ライフ・バランスの推進とも深く関わりがあるため、男女共同参画課と連携し総合的に考えていく必要がある。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**拡大**」という方向性(見込み)は適切である。

なかなか待機児童数が減少しない状況にある中で、H26年度までに定員枠を1000人以上増加し、待機児童の解消を目指したいとのことだが、保育所施設を増やすだけでなく、様々な保育環境の整備や保護者への支援策をさらに工夫することによる柔軟な待機児童解消対策を期待する。

計画事業	11	子どもの居場所づくりの充実
------	----	---------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない

## 《4つの視点等への意見》

### ○総合評価

業務委託による保育時間の延長やコスト削減は、経費的に効率的と評価できることは確かである。

一方で、サービスを受ける子どもたちの立場からも効果的といえる事業になったかという視点も内部評価には必要である。

## 《その他意見》

男女共同参画やワーク・ライフ・バランス等の改善の為にも、学童の居場所づくりや時間延長等の拡充を急ぐ必要がある。

## 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は**適当**である。

引き続き計画事業として児童館学童クラブの事業充実が図られること及び、全小学校で開始され経常事業化される放課後子どもひろば事業が、本当に子どもたちにとって安心できる居場所であり、行きやすい場所となりえているのか、子どもたちに関わるスタッフのあり方が適切であるかなど、常に考えていく姿勢を持ち続けてほしい。

計画事業	12	地域における子育て支援サービスの充実
------	----	--------------------

## 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

## 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**拡大**」という方向性(見込み)は**適当**である。

「子どもの育ち、自立を地域でしっかり応援するまち」という個別目標の視点で今後もサービスを充実させてほしい。

地域の中で安心して子育てができ、子どもたちが健やかに育つようにするために、在宅で子育てしている家庭の支援を行う一時保育事業は重要である。増大する需要に応えられるような今後の取り組みに期待する。

計画事業	13	子ども発達センター移転と児童デイサービスの拡充
------	----	-------------------------

**【評価】**

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない			

**《その他意見》**

第一次実行計画期間内に子ども発達センターの移転及び児童デイサービスの拡充が完了するため、本計画事業が終了することは分かったが、今後、児童デイサービス事業がどのように実施されていくのか記述がない。

経常事業化などにより児童デイサービス事業が継続されていくのであれば、その内容も内部評価にはわかりやすく記載する必要がある。

基本目標	II	だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち
個別目標	3	未来を担う子どもの、一人ひとりの生きる力を育むまち

計画事業	14	確かな学力の育成
------	----	----------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	□ 適切 ■ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	□ 適当である ■ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	□ 適当である ■ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

視 点	適当でないと評価する理由
③効果的・効率的 な視点	<p>意識調査の結果、「授業がわかりやすい」と答えた子どもが約7割いることは評価できる。</p> <p>しかし、授業のわかりやすさという指標のみで、確かな学力の育成に効果があったと言えるかは疑わしい。確かな学力推進員の配置によって実際に「教員がどれだけ子どもと向き合う時間が確保できたか」と、授業の改善によってどれだけ「学力の定着が図られたか」を、分けて評価したほうがわかりやすいのではないか。</p> <p>また、少人数学習指導や各学校の教育課題への対応などにおいて教員を補佐し、また直接的に児童生徒を指導する確かな学力推進員と、若手教員の授業力向上のため、授業観察を通じて指導助言を行う授業改善推進員により、どのような効果があったのかを明確にすべきである。</p>
総合評価	<p>各学校の実情に応じたきめ細かい指導を徹底するため、確かな学力推進員を配置することは必要である。</p> <p>しかし、確かな学力推進員の配置による学力育成の効果は判断しがたい。総合的に評価するには、児童・生徒や保護者及び第三者による客観的な視点の評価も必要である。</p> <p>「確かな学力」をつけることは子どもの将来にとって重要なことであるが、予算額の大きな事業であり、厳しい経済情勢でもあるため、常により効果的な方法、確実な方法を検討し、それを検証していくための指標も見直してほしい。</p>

### 《その他意見》

確かな学力の育成の効果をよりわかりやすいものにするため、計画事業15「特色ある教育活動の推進」との統合・再構築を検討してはどうか。

## 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適当である。

確かな学力の育成に効果があったということを知る指標の設定は難しいことは理解しているが、意識調査による授業のわかりやすさのみでは学力をどう捉えるのかの学力観が見えない。

事業の見直しを検討するなかで、公教育の重要性や事業コストの大きさに鑑み、PDCAサイクルの本質をわきまえて、第二次実行計画の中に区民目線で理解できる「確かな学力」を反映できる指標を明示してほしい。

計画事業	15	特色ある教育活動の推進
------	----	-------------

## 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない

視 点	適当でないとして評価する理由
③効果的・効率的な視点	<p>効果を計ることは難しいのは理解できるが、学校長の裁量権を拡充したことでのような特色が出てきたのかが重要である。</p> <p>また、教育を受ける子どもたちが、自分たちの学校の取り組みに意義を感じ、それが学校への愛着につながっているのか、そのような視点で効果を計る必要がある。</p>
④目的(目標水準)の達成度	<p>ほぼ目標どおりの達成水準ではあるが、内部評価の記載では達成度の評価の理由になっていない。学校長の裁量権を増せば特色ある教育活動が充実するのか疑問を感じる。</p> <p>各公立小中学校で展開している、地域伝統文化、国際交流・異文化交流、地場産業などの特色ある教育内容を地域に積極的に発信し、理解や協力意識が醸成されることが望まれる。</p>
最終年度に向けた方向性	<p>各地域における特色ある教育活動を実施するには、常に改善を目指す姿勢が重要である。</p> <p>また、第三者評価の結果、どのように改善がなされ、特色ある教育活動に反映されたのか分からない。内部評価には具体的な取り組み内容の記載も必要である。</p>

## 《その他意見》

特色ある教育活動の推進の効果をよりわかりやすいものにするため、計画事業14「確かな学力の育成」との統合・再構築を検討してはどうか。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当でない。

「特色ある学校づくり教育計画」の策定に際し、小中学校一体となり、ブロックか隣接校同士で協調し、地域共通の種目・項目などに取り組むのも1つの選択肢ではないか。

現状の手法を継続するのではなく抜本的に見直し、より効果的な方法を模索するなど、中長期的な計画の基に地域が見える特色ある教育を実践してほしい。

特色ある教育活動を計るうえで「各学校の教育方針等の保護者への周知度75%」という指標だけでは達成水準が明確ではない。内部評価の適切な目標設定で「改善が必要」としているとおり、適切な指標の設定が望まれる。

計画事業	16	特別な支援を必要とする児童生徒への支援
------	----	---------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。

障害のある幼児・児童・生徒一人ひとりの自立や社会参加に向けた主体的な取り組みを支援するという視点に立った、きめ細やかな支援の充実は継続すべきである。

増加傾向にある障害のある児童・生徒や新宿区の特性である多くの外国籍児童・生徒等の様々なニーズを的確に把握し、常に世の中の変化に対応するよう考慮してほしい。

計画事業	17	学校適正配置の推進
------	----	-----------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	手段改善
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

《協働の視点による評価》

今後、児童数の減少が見込まれる中、学校適正配置の推進については、PTAや卒業生、地域社会などとの意見交換や情報の共有が大切である。

《その他意見》

子どもの集団教育の効果を高めうる最低限の人数を議論していくことは大切である。

【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適当である。

子どもの教育の究極の目的は、1人ひとりの子どもの教育を受ける権利を保障することである。そのため、第二次実行計画では、子ども同士の切磋琢磨、交流、交歓、相互補完などの頻度を高めるなど、良好な教育環境への方向性を示してほしい。

また、学校適正配置は立場や価値観の違いによって判断が分かれ、調整が難しい問題であるが、教育環境の大きな変化を踏まえ、広い視野で論じていくことが大切である。

計画事業	18	学校施設の改善
------	----	---------

【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	手段改善
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

《その他意見》

第一次実行計画期間における本事業の目的である、特別教室等の空調整備は平成22年度に完了した。

第二次実行計画に向けて新しい施設改善事業を検討するのであれば、本事業は廃止し、中長期修繕計画内で事業を実施するのも一つの選択肢ではないか。検討の結果、新たな施設改善の目標が決定した段階で、再度計画事業として実施してはどうか。

【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適当である。

第二次実行計画(見込み)においては、「学校施設の良好な教育環境を確保するため、引き続き老朽化した施設のうち優先度の高いものから整備する」としている。様々な改善策を検討したうえで、引き続き良好な教育環境を確保するための事業の推進を期待する

計画事業	130	学校の情報化の推進
------	-----	-----------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

<p>内部評価における「<b>拡大</b>」という方向性(見込み)は適当である。</p> <p>第一次実行計画では、教員がICT、インターネットを活用した指導をできるようにする環境整備や、児童・生徒が使用するパソコン環境の整備に重点が置かれ、それがほぼ達成された。</p> <p>この分野での社会の変化は激しく、携帯端末からのインターネット利用も一般化しているため、第二次実行計画では、子どもたちがどのように情報を自分の力で読み取り、自分たちを守っていくか、情報リテラシーやモラルの教育に重点に置いた事業の推進を強く希望する。</p>
---

計画事業	19	地域との協働連携による学校の運営
------	----	------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	事業拡大
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 《4つの視点等への意見》

#### ○総合評価

職場体験、英語や数学での個別の学習指導の実績など、生徒が意欲的に取り組んでいることは評価できる。

### 《協働の視点による評価》

地域との協働での学校運営は素晴らしいことであるが、指定校を増やすとともに、より一層、内容の充実を図る努力をしてほしい。

## 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**拡大**」という方向性(見込み)は**適当**である。

四谷地区以外への拡大を図る際には、四谷地区での活動の評価をしっかりと行ない、他地区の特徴を加味した実践が大切である。

地域の大人が子どもたちの様子を知り、関わりを持つことは重要だが、その際、理想とする子ども像については、特定の価値観に偏ることなく、地域の力を発揮できるような協働にしていけることが求められる。

また、「地域の住民や保護者などが学校運営や学校評価に参画する新たなしくみを作り、地域と協働連携した学校運営を行っていく」という目的に照らして、今後ホームページ等に第三者評価を公表してはいかかがか。

計画事業	20	家庭の教育力向上支援
------	----	------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	手段改善
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 《4つの視点等への意見》

○総合評価

家庭の教育力の向上に役立つ事業として評価する。

### 《その他意見》

経常事業化しても、子ども家庭支援センターや保健センター等と連携し、プログラム等の改善を図りながら、継続して子どもと親と学校との良好な関係づくりに努めてほしい。

基本目標	II	だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち
個別目標	4	生涯にわたって学び、自らを高められるまち

計画事業	21	総合運動場及びスポーツ環境の整備
------	----	------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	□ 効果的 ■ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	手段改善
内部評価に 対する評価	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない

### 《4つの視点等への意見》

#### ○総合評価

スポーツ環境調査の結果を生かし、年齢に合致した種目の選定、指導者リーダーの派遣、区民の意欲の喚起など条件整備とあり方を検討し、地域特性にあったスポーツ文化活動の場の整備等の事業展開を希望する。

### 《協働の視点による評価》

地域の組織や団体との協働の視点を常に意識して、事業を実施してほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適切である。

今後は、どのように手段改善を行っていくのかを明確にすることが必要である。

スポーツ環境調査の結果を踏まえ、新宿区に適したスポーツ・文化環境を充実させるため、関係団体や地域各種団体との連携を強化した第二次実行計画の策定を期待する。

計画事業	23	図書館サービスの充実
------	----	------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない

**【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】**

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は**適当**である。

これからは、電子書籍が急増してくると思われるので、対応についての早急な検討を期待する。

計画事業	24	子ども読書活動の推進
------	----	------------

**【評価】**

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

**【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】**

内部評価における「**手段改善**」という方向性(見込み)は**適当**である。

子どもが自主的に読書活動を行うことができるようにするには、学校の図書・読書活動に期待するところが大きい。そのため、第二次実行計画では、学校に司書等の資格を有する学校図書館スタッフの配置が強く望まれる。

また、新たに追加した「区立小学校児童の不読書率の減少」及び「区立中学校生徒の不読書率の減少」の指標を検証し、今後も子ども読書活動を推進するとともに、図書館を利用しない人にいかに読書に親しんでもらうかの工夫にも取り組んでほしい。

基本目標	II	だれもが人として尊重され、自分らしく成長していけるまち
個別目標	5	心身ともに健やかにらせるまち

計画事業	25	歯から始める子育て支援
------	----	-------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**拡大**」という方向性(見込み)は適切である。

歯は健康にとって大切な器官である。第一次実行計画で取り組んできた実績を踏まえ、関連機関との連携の強化を図りつつ、子どもの頃からの良い習慣づけ、乳幼児の好ましい歯科保健行動が継続されるよう様々な工夫を期待する。

計画事業	26	食育の推進
------	----	-------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	事業拡大
内部評価に 対する評価	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない

### 《協働の視点による評価》

食は生きる上での基本である。特に子どもへの対応としては、学校給食に委ねるだけでなく、家庭・学校・地域が一体となり食に関する生産と消費の認識を基に方向性の具体化を図り、地域団体等との協働を推進しながら、今後も事業を発展していく工夫をしてほしい。

**【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】**

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は**適当**である。

今後、青少年や高齢者を対象とした食育推進計画を策定し、栄養バランス、肥満や生活習慣病、最近見られる事故を教訓とした食の安全や流通海外依存、食文化の構築など幅広い事業を展開することにより食育の推進を継続してほしい。

新たな「食育推進計画」の策定を踏まえての活動を検討しているとのことであり、これまでの事業の方法を再検討し、より実のある方法を導入し、手段改善をしながら事業を実施してほしい。

計画事業	137	女性の健康支援
------	-----	---------

**【評価】**

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 達成度が高い <input checked="" type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	事業拡大
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

視 点	適当でないと評価する理由
総合評価	<p>乳がん検診・子宮がん検診受診率の目標達成率が半分程度であるため、内部評価でも達成度は低いとしている。達成度が上がらない原因を分析し、受診率の実績を上げるための普及啓発活動を強化してほしい。</p> <p>平成23年度に策定する新宿区健康づくり行動計画の中での体系化は、事業の継続・発展の視点で評価できる。</p>

**《協働の視点による評価》**

今後事業拡大を行う上で、地域の組織を巻き込んだ、協働の視点を組み込んで活動展開をしてほしい。

**《その他意見》**

予防接種の安全性については、広く情報を収集するとともに、国や都の動向も常に注視してほしい。

**【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】**

内部評価における「**拡大**」という方向性(見込み)は**適当**である。

平成25年度開設の女性の健康支援センターの運営内容の明確化を図ることにより、女性の健康づくりの拠点となることを大いに期待する。

乳がん検診・子宮がん検診の受診率を上げるための対策などをソフト・ハードの両面から検討し、区民の期待に応えてほしい。

計画事業	28	新型インフルエンザ対策の推進
------	----	----------------

【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 達成度が高い <input checked="" type="checkbox"/> 達成度が低い	計画以下	その他 (制度改正等)
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

《4つの視点等への意見》

○総合評価

今後もインフルエンザの発生時には、常に柔軟な姿勢と対応が望まれる。

《協働の視点による評価》

新型インフルエンザ対策は、地域住民との協働が生きる分野である。

関連機関等との対策や訓練を疎かにせず、発生した場合は、どのように拡大を防ぎ、収束させるかの正確な情報を提供し、地域との協働を生かした対応を推進してほしい。

【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適当である。
引き続き感染予防の普及啓発を行い、危機管理の視点から新型インフルエンザ対策を検討してほしい。

計画事業	29	エイズ対策の推進
------	----	----------

【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 達成度が高い <input checked="" type="checkbox"/> 達成度が低い	計画以下	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

《4つの視点等への意見》

○総合評価

内部評価では目標値を下回ったため計画以下の評価としているが、様々な努力と今後への改善は評価できる。

【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適当である。
この事業は新宿区だけの課題として捉えるのではなく、対策等の検討にあたっては、常に国や都に対して本事業の重要性をより一層アピールするとともに、連携して実施してほしい。

基本目標	Ⅲ	安全で安心な、質の高い暮らしを実感できるまち
個別目標	1	だれもが互いに支え合い、安心してらせるまち

計画事業	30	高齢者を地域で支えるしくみづくり
------	----	------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

### 《4つの視点等への意見》

#### ○総合評価

若い世代も含め認知症に関する知識を広めたことは意義がある。

情報紙「ぬくもりだより」による安否確認は事業としてはほぼ定着しつつあり、見守り活動として好評である。

各高齢者総合相談センターも職員が増員され、相談体制が充実したことが実感できる。

高齢者が地域の一員として尊重され、安心して在宅生活が続けられる、このような区民との連携事業は高く評価できる。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適当である。

高齢者をサポートする部署は複数にまたがっており、連携の基に成り立っている点を常に意識した対応が要求されることを意識して、事業展開していくことが重要である。

認知症サポーターや地域見守り協力員は着実に増加しているが、対象者の数も増加しているため、認知症サポーター等の活動の幅をより広げていく工夫が望まれる。

計画事業	31	介護保険サービスの基盤整備
------	----	---------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	手段改善
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適当である。
要介護者の増加への対応は進んでいるようである。可能な限り住み慣れた地域において生活の継続を目指す「地域包括ケア」という考えに基づき、様々な方法で地域包括ケアを推進してほしい。

計画事業	33	後期高齢者医療制度の実施に伴う支援
------	----	-------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「縮小」という方向性(見込み)は適当である。
<p>枝事業の一つである葬祭費の支給事業は、東京都後期高齢者医療広域連合の給付事業を区が受託して実行することとなったため、経常事業化して実施していくことは適当である。</p> <p>また、入院時負担軽減支援金の支給事業は後期高齢者医療制度が存続する間は計画事業として継続するとしているが、実績も高く安定していると考えられたため、経常事業として実施することを検討してはいかがか。</p>

計画事業	131	高齢者総合相談センターの機能強化
------	-----	------------------

**【評価】**

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

**《4つの視点等への意見》**

○総合評価

高齢者総合相談センターの機能強化については、人員体制強化、人材育成のための研修、業務評価等、名称の変更も含め事業全体が順当に進んでいることを高く評価する。

**【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】**

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適当である。
地域包括ケアの充実のためには、今後も高齢者総合センターの機能強化は必須である。 区民の利便性の向上のためにも、9センター間の質の標準化・向上に努めつつ、地域特性も活かし、事業及び職員の質の評価・検証を引き続き行い向上を図ってほしい。

計画事業	34	障害者の福祉サービス基盤整備
------	----	----------------

**【評価】**

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

**【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】**

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。
第一次実行計画からの課題である、用地確保と近隣住民の理解を得ることの難しさは理解できるが、障害者の地域生活を支援していくうえで重要な事業であるため、第二次実行計画では、弁天町国有地での障害者入所支援施設の整備などによる事業の推進を期待する。

**【評価】**

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

**《4つの視点等への意見》**

○総合評価

厳しい経済・雇用状況の改善が見られない中、相談・申請が増加していることに対して、相談員やケースワーカーの増員を図り体制を強化したことは妥当である。

**《協働の視点による評価》**

路上生活者への支援は、1人ひとりに合ったきめ細かい対応が求められることから、都や他区、地域住民、NPO等との協力と連携が必要である。

**【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】**

内部評価における「**拡大**」という方向性(見込み)は適当である。

国や都の動向を踏まえながら、広域的な対策も重要である。関係各機関への積極的な働きかけと連携を期待する。

基本目標	Ⅲ	安全で安心な、質の高い暮らしを実感できるまち
個別目標	2	だれもがいきいきと暮らし、活躍できるまち

計画事業	36	高齢者の社会参加といきがづくりの拠点整備
------	----	----------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は適切である。

高齢者の生きがいがづくりや社会参加のために大切な事業であり、シニア活動館の配置・整備は、着実に進められている。

地域ボランティアの発掘・養成・活用など、その設置目的である社会貢献型活動を拡充し、地域支え合いの担い手の拠点として、第二次実行計画でも予定どおり進むことを期待する。

計画事業	37	障害のある人への就労支援の充実
------	----	-----------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	手段改善
内部評価に 対する評価	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**拡大**」という方向性(見込み)は適切である。

第二次実行計画では、福祉施設から一般就労への移行についての支援策の充実が望まれる。

商工会議所支部等と連携した、区独自の施策などの推進に期待する。

計画事業	38	新宿区勤労者・仕事支援センターによる就労支援
------	----	------------------------

【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	事業拡大
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

《4つの視点等への意見》

○総合評価

「コミュニティショップ（ふらっと新宿）」や「サテライトオフィス」との連携による就労支援など、地域ボランティアとの協働や、区と民間企業の共同運営が実効をあげている点を高く評価する。

《協働の視点による評価》

「ふらっと新宿」について、地域ごとの特色ある活動が出来るようになってきている。その部分を地域の人にさらに知ってもらうため、町会等と連携し、町会掲示板等を活用するなど、地域ごとの特色ある周知方法を考えてほしい。

【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「 <b>拡大</b> 」という方向性(見込み)は適当である。
今後ますます必要となる事業であり拡大に期待する。
第一次実行計画で培われたノウハウを活用しながら総合的な就労支援事業として展開して いってほしい。
特に若年者について、就労後の定着に向けた取り組みが重要となっている。22年度区長の 総合判断でも定着支援を行っていく旨が述べられているが、第二次実行計画にあたってはこ の点を評価指標に組み込むなど精力的に取り組んでほしい。

計画事業	39	特別な支援を必要とする人への居住支援
------	----	--------------------

【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	□ 効果的 ■ 要改善	□ 達成度が高い ■ 達成度が低い	計画以下	手段改善
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

### 《4つの視点等への意見》

#### ○総合評価

高齢者等入居支援については、高齢者・障害者等の居住の安定のため必要とされる事業だが、助成件数が少ない。わかりやすく利用しやすい支援方法を工夫すべきである。成果が挙がるような方策を検討してほしい。

### 《協働の視点による評価》

高齢者等入居支援については、高齢者担当課、民生委員、保護司会等との連携を十分考慮されたい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は適当である。

しかし、「最終年度に向けた方向性」では「手段改善」を検討するとしているので、「第二次実行計画の方向性」においても引き続き十分な手段の改善を講じてほしい。

計画事業	40	分譲マンションの適正な維持管理及び再生への支援
------	----	-------------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	□ 達成度が高い ■ 達成度が低い	計画どおり	事業拡大
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	□ 適当である ■ 適当でない	□ 適当である ■ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	□ 適当である ■ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

視 点	適当でないと評価する理由
②適切な目標設定	マンション居住者が多い新宿区の特徴を考えると、セミナーや相談の目標件数が低いので、高く設定すべきである。
③効果的・効率的な視点	上記の他、「マンションアドバイザー利用助成募集件数に対する利用助成申請件数の割合」が極めて少ない。
総合評価	目的の達成度が低く、内部評価で「計画どおり」とした根拠が不明確であるため、「計画以下」とすべきである。

### 《協働の視点による評価》

この事業を推進していくためには、マンション管理組合との協働が欠かせない。

### 《その他意見》

区内でも増えている超高層マンションは、地震でエレベーターが自動停止し、停電により給水も止まるため、震災時、建物が損壊していなくても、居住者が自宅へ戻れない・生活できないといった問題が生じる。特有の悩みを抱える超高層マンションの居住者・管理組合のため、区が情報交換の場をコーディネートするなどの対策を検討してほしい。

**【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】**

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は適当でない。

マンション居住者・管理組合が抱えている課題を的確に把握し、真に必要とされる施策を実施していく必要がある。手段改善、あるいは拡大の方向を期待したい。

マンション居住者の割合が非常に高い都心区としての新宿区の分譲マンションの特有事情を十分踏まえ、事業量がこれで十分なのかということも含めた抜本的な対策が必要である。

また、マンション居住者のコミュニティづくりへの支援に努めてほしい。

計画事業	41	区営住宅の再編整備(早稲田南町地区)
------	----	--------------------

**【評価】**

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 達成度が高い <input checked="" type="checkbox"/> 達成度が低い	計画以下	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

基本目標	Ⅲ	安全で安心な、質の高い暮らしを実感できるまち
個別目標	3	災害に備えるまち

計画事業	42	建築物の耐震性強化
------	----	-----------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない

視 点	適当でないと評価する理由
②適切な目標設定	耐震調査・計画費助成が区全体として本当に耐震強化につながるかどうか判断できないので、建築物の耐震化の観点からは、耐震改修工事の実施件数や住宅の耐震化率等を事業の指標とするべきである。
最終年度に向けた方向性	東日本大震災の影響で、居住者の建築物耐震化への意識が高まっているので、積極的に地域に入って本事業の啓発を十分に行い、耐震改修工事の事業増に結びつけてほしい。早期に耐震化が進む必要があるため、従来どおり継続とするのではなく、手段の改善を図ってほしい。

### 《4つの視点等への意見》

#### ○総合評価

耐震化推進のためのモデル地区事業、現場パトロールその他の周知方法によって実績を上げていることは評価する。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**拡大**」という方向性(見込み)は適当である。

事業をよりいっそう推進するためにも、さらに目標値を上げてはどうか。

また、第二次実行計画では、事業の指標として、建築物の耐震化の客観的な成果指標である「住宅の耐震化率」や「耐震改修工事の実施件数」等を追加して設定できないか検討していただきたい。

計画事業	43	道路・公園の防災性の向上
------	----	--------------

【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

《4つの視点等への意見》

○総合評価

東日本大震災によって、帰宅困難者にとっての公園・トイレ・水場の重要性が改めて認識された。防災性の向上の観点から、必要な事業を優先的に実施してほしい。

《その他意見》

東日本大震災を踏まえての防災対策の見直しの中で、道路・公園の防災性についても、区全体としての整備計画を基に、計画的かつより積極的に取り組んでほしい。

【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当でない。
防災性の向上の観点から、拡大あるいは手段改善の方向で、必要な事業を優先的に、より早く、より積極的に実施してほしい。
災害時、避難者が多いと予想されるような公園に、災害時にも使えるようなトイレ、水、照明を至急整備してほしい。

計画事業	44	道路の無電柱化整備
------	----	-----------

【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当でない。
東日本大震災を踏まえ、災害に備えるまちづくりの観点から、事業の拡大に努められたい。
都市計画道路の工事や再開発の際に整備する現在の方法ではなく、道路が狭く交通量が多い、震災で電柱が倒れる恐れがある等、危険で必要度の高い道路の無電柱化から優先的に進めてほしい。

計画事業	45	木造住宅密集地区整備促進
------	----	--------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない

視 点	適当でないと評価する理由
④目的(目標水準) の達成度	<p>共同建替え事業の合意形成に努力しているものの、指標「建替え促進助成適用住宅戸数」の達成水準が低い状況に留まっているため、達成度が高いとはいえない。</p>
総合評価	<p>合意形成が困難なことにより事業が進まないことは理解できるが、目標の達成度が高いとはいえず、計画どおりとする内部評価の理由に客観性が認め難いため、計画どおりとはいえない。</p>

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

<p>内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。</p>
<p>東日本大震災を踏まえて、災害に備えるまちづくりの観点から、第二次実行計画においても積極的に事業を推進されたい。</p>

計画事業	46	再開発による市街地の整備
------	----	--------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 《協働の視点による評価》

再開発事業が計画的に推進したのも、地元地権者等地区内住民との合意形成がうまく運んだ結果と考える。今後も引き続きそれら関係者の理解が得られることを重視して取り組まされたい。

**【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】**

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は**適当**である。

東日本大震災を踏まえて、災害に備えるまちづくりの観点から、第二次実行計画においても積極的に事業の推進や防災対策の充実に努められたい。

計画事業	47	地域防災拠点と避難施設の充実
------	----	----------------

**【評価】**

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

**《その他意見》**

区民の安全を確保するため、災害時の区民への情報提供が極めて重要であるため、伝達手段の多様化にも取り組まれない。

また、災害時には新宿区は何が足りないのか現状を示し、これを何年間で整備するという避難施設基本計画を区民に示してほしい。

さらに、東日本大震災により、帰宅困難者の一時休息・仮泊所の確保の重要性が明らかになったため、今後、帰宅困難者等に対する支援計画を作成する必要がある。

計画事業	138	防災活動拠点の整備
------	-----	-----------

**【評価】**

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない

視 点	適当でない評価する理由
②適切な目標設定	わかりやすく客観的な評価のため、進捗管理上の段階的な目標を設定し、数値化を工夫してほしい。

### 《その他意見》

災害時には初動態勢が極めて重要だが、区内に在住する職員が10%程度と極めて少ない区の事情を踏まえ、職員の参集体制の早期確立のための対策を十分に講じられたい。

初動態勢確保のため、区内居住者の採用や、職員が区内に居住するための家賃助成等の方法を検討してもよいのではないか。そのうえで、防災住宅の戸数も含めて、計画化を図ってはいかがか。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は適当である。

東日本大震災を踏まえ、区の防災活動拠点の全体計画を定めて区民に示し、第二次実行計画において計画的に整備に取り組んでほしい。

基本目標	Ⅲ	安全で安心な、質の高い暮らしを実感できるまち
個別目標	4	日常生活の安全・安心を高めるまち

計画事業	48	安全で安心して暮らせるまちづくりの推進
------	----	---------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない

視 点	適当でないと評価する理由
②適切な目標設定	現状の指標「安全推進地域活動重点地区指定数」は、既に実績が一定数に達しているため、次のステップとして、そこで効果的な防犯活動が行われているかどうか成果を示す客観的指標を検討すべきである。

### 《4つの視点等への意見》

○総合評価

取組みの効果が表れ、地域に防犯意識・防犯力の高まりがみられることを評価する。

### 《協働の視点による評価》

地域の防犯活動は、区民による自主運営が基本であるため、区民との連携を図って効果的な防犯活動が行われるよう誘導してほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。

第二次実行計画では、次のステップとして、重点地区における安全推進活動の質の向上に取り組んでほしい。

計画事業	49	民有灯の改修支援
------	----	----------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	休廃止
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 《その他意見》

東日本大震災の影響を受けての節電の趣旨や環境の面からも、また、高齢化で電球取替えが困難な現状からも、LED電球の導入を検討して欲しい。

基本目標	IV	持続可能な都市と環境を創造するまち
個別目標	1	環境への負荷を少なくし、未来の環境を創るまち

計画事業	50	ごみ発生抑制を基本とするごみの減量とリサイクルの推進
------	----	----------------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	事業拡大
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

### 《協働の視点による評価》

新宿区の特性として、学生や外国人など住民の異動が多いので、ごみ捨てるルールについては不断に啓発を行っていく必要がある。

ごみの減量とリサイクルの推進は、区民や事業者との協働が欠かせないので、区民や事業者の意識の向上や動機づけをさらに図る施策に取り組んで欲しい。また、今後も紙媒体だけでなく、イベント、キャンペーン等を通して区民の意識向上を図ってほしい。

### 《その他意見》

正月などの休日にはごみの収集も休むので、街中ゴミの山になる。その解消を目指し、休日のごみ収集についても検討してほしい。

資源回収の委託によるコスト削減、回収品目の拡大等の努力を評価するが、回収率はその割に伸びないのは、古紙とアルミ缶の抜き取りの影響か。「ごみ半減、リサイクル率倍増」の目標を達成するためにも、家庭ごみ有料化も視野に入れた新しいごみ収集のあり方を検討すべき時期に来ているのではないかと。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は適当である。

ごみの着実な減量と資源回収のさらなる推進に取り組んでほしい。また、事業系のごみ減量が重要な課題なので、効果的な対策を検討してほしい。

事業系ごみに関し、大規模事業所には立入調査等の対策を講じているが、中小事業所にも対策の必要があるのではないかと。

計画事業	51	地球温暖化対策の推進
------	----	------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 《協働の視点による評価》

環境問題は、行政がすべきものとNPOなどに任せられるものとを仕分けして推進してほしい。

区民、事業者との連携・協働が欠かせないので、積極的に取り組んでもらえるような啓発事業にさらに取り組むとともに、動機付けを図るため、ポイントや商品券の付与などの施策を検討してほしい。

### 《その他意見》

環境、道路、緑の事業は相互に関連があるため、横断的な連携が求められる。幅広く区民に環境問題を普及させるには、わかりやすい表現、参加しやすい形等工夫が必要である。みどりのカーテン事業は楽しみながら省エネができるだけでなく、コミュニティづくりにも役立っているが、内部の講師やプロジェクトチームを使い、園芸用品の購入方法などを工夫すれば、もっとコストを削減できるのではないかと。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**拡大**」という方向性(見込み)は適当である。

新たな地球温暖化対策指針に基づいて、計画的にCO2量の削減を実現してほしい。その際、区民・事業者の取組みの見える化を徹底して、取り組む者にとってやりがいのある対策を行って欲しい。特に排出量の大きい業務部門対策を重視されたい。

計画事業	52	清潔できれいなトイレづくり
------	----	---------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画以上	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない

視 点	適当でないと評価する理由
②適切な目標設定	<p>毎年度100%を超えるような指標については、目標水準の見直しを検討してほしい。</p> <p>バリアフリー化は災害時にも有効であるため、東日本大震災を踏まえ、目標設定を前倒して積極的に推進してほしい。</p>

#### 《その他意見》

公園事業、防災対策等と組み合わせ、清潔なバリアフリースイートを増やしてほしい。

#### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「拡大」という方向性(見込み)は適当である。

災害時のトイレ対策の充実の必要もあるので、第二次実行計画においても、積極的な取り組みを期待する。特に、公園トイレのバリアフリー対応割合が非常に低いので、改善の強化に取り組んでほしい。

計画事業	53	路上喫煙対策の推進
------	----	-----------

#### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	手段改善
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

#### 《4つの視点等への意見》

○総合評価

街頭での指導によって、路上喫煙者が減少していることを評価する。

#### 《協働の視点による評価》

地域のシルバーボランティア(有償)等を活用し、4~5人のグループで1つのコーナーの喫煙対策、自転車整理、清掃等を担当してもらうような事業を検討してはどうか。

健康に配慮する観点から、医療機関や保健所、学校・教育委員会等と連携しての禁煙教育・対策にも積極的に取り組んでほしい。

#### 《その他意見》

鉄道利用客の路上喫煙を軽減するための環境整備の充実などに今後も引き続き努力してほしい。

また、ポイ捨て禁止の路面標示タイルのデザインは、文字よりもイラスト等により一目で分かるように工夫してはかがか。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は**適当**である。

第二次実行計画で事業を推進するにあたり、引き続き費用対効果の観点にも十分考慮して取り組んでほしい。

路上喫煙・放置自転車・繁華街清掃等の“路上の作業・指導事業”は、所管部署が分かれているが、事業を長期間にわたって継続するには、コスト削減を模索する必要がある。従来の所管枠にとらわれない事業推進を検討してほしい。

計画事業	139	アスベスト対策
------	-----	---------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画以上	事業拡大
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 《4つの視点等への意見》

#### ○総合評価

事業開始初年度であるため目標値が低く設定されているということもあり、工事費助成の実績件数が目標を1件上回ったことで計画以上とまではいえず、「計画どおり」の範疇ではないか。今後の事業の積極的な推進に期待する。

### 《協働の視点による評価》

建築物所有者の理解と協力が不可欠であるため、助成事業の周知によりいっそう努めてほしい。

### 《その他意見》

助成内容がアスベスト対策を効果的に推進するうえで十分なものかどうかについても、今後検証してほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**拡大**」という方向性(見込み)は**適当**である。

アスベストの健康への影響の重大さを考え、事業を積極的に進めてほしい。

計画事業	54	環境学習・環境教育の推進
------	----	--------------

**【評価】**

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	手段改善
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない

視 点	適切でないと評価する理由
②適切な目標設定	<p><b>エコリーダー養成講座の修了者が、区民に対して意識啓発上でどのような効果ある活動を行っているのか、という成果指標を検討していくべきである。</b></p>

**《4つの視点等への意見》**

○総合評価

NPOによる指定管理者の運営によって、エコギャラリー新宿は充実した事業を実施していることを評価する。

**《協働の視点による評価》**

区民の協働が期待される分野なので、区民の参加を促す積極的な取り組みを期待する。

**《その他意見》**

今後、太陽光発電や風力発電などを取り入れた体験型の環境学習の場の取組みを積極的に進めてほしい。

エコリーダー受講者を次の活動につなげるため、きめ細かい対応によりフォローアップに取り組んでほしい。

**【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】**

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適切である。

環境日記、環境絵画展等、小中学生対象の事業は成果を上げている。今後、高校生・大学生を巻き込むことはできないか検討してほしい。

基本目標	IV	持続可能な都市と環境を創造するまち
個別目標	2	都市を支える豊かな水とみどりを創造するまち

計画事業	55	区民ふれあいの森の整備
------	----	-------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

### 《その他意見》

事業の指標については、客観的な評価を行う観点から、できるだけ数値化することが望ましい。今後の整備にあたっては、基本計画の策定や基本設計の作成等の進捗過程についても、事業の指標に反映させられないか検討してほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。

区民ふれあいの森を中心とした下落合地区のみどりの整備のさらなる拡大に期待する。

計画事業	57	新宿りっぱな街路樹運動
------	----	-------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

### 《協働の視点による評価》

新しく植えた街路樹が、水やりの不足から枯れてしまったのを見かける。適切に維持管理してほしい。

水やりについて、地域との協働を検討してはどうか。

道のサポーター制度等についても、定期的に検証を行ってはどうか。

### 《その他意見》

事業を進めるうえで、環境・道路・みどりの各所管の連携を強化してほしい。

街路樹は、少しでも多くの土を入れ、樹木の根張を助長して、100年樹を目指して欲しい。つつじ類などの低木は、狭い歩道では、むしろ歩行の支障になる場合もあるため、その道に適した樹種を選定し、合理的・効率的にりっぱな街路樹を育ててほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は適当である。

道路の無電柱化、道路の改良をしてから街路樹を整備する、という計画は適切である。

どの道路に街路樹を増やすのか、計画の予定や内容を区民に説明し、意見を求めるなどの工夫をする必要がある。

計画事業	58	新宿らしい都市緑化の推進
------	----	--------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 達成度が高い <input checked="" type="checkbox"/> 達成度が低い	計画以下	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない			

視 点	適当でない評価する理由
最終年度に向け た方向性	<b>達成度が低く、第二次実行計画においても手段改善としているため、第二次実行計画につながる改善の検討が必要である。</b>

### 《協働の視点による評価》

都市緑化の推進には、区民や事業者との協働が欠かせないので、区民や事業者が積極的に取り組める助成制度の内容に見直してほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**手段改善**」という方向性(見込み)は適当である。

「空中緑花」というのは地上に空地・緑地の少ない都心区ならではの企画で、キャッチフレーズも良い。PRを強化し、公共施設だけでなく、民間の屋上緑化もより積極的に推進してほしい。

計画事業	59	樹木・樹林等の保護
------	----	-----------

【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない			

《協働の視点による評価》

保護樹木等所有者との協働が大切なので、住宅の庭の高木や大樹を守ることについての啓発とともに、それらのニーズを十分踏まえた施策を推進してほしい。

《その他意見》

行政・民間ともに、建物・道路の建設時に、邪魔な樹は切り倒して代わりに植樹をするといった発想から、樹木を切らないで建物・道路を作るという発想への転換が必要である。

本事業は、所有者からの申告制度だが、法人などに対象を広げることを検討してはどうか。

【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適切でない。
みどりに関する施策については、より合理的で効果的・効率的なものとなるよう事業の見直しや整理統合を検討していくとしているので、「手段改善」とすべきである。

計画事業	60	アユやトンボ等の生息できる環境づくり
------	----	--------------------

【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	事業拡大
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない			

《協働の視点による評価》

神田川ファンクラブの今後の運営に期待する。

【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適切である。
より合理的で効果的・効率的な事業の実施に期待する。

基本目標	IV	持続可能な都市と環境を創造するまち
個別目標	3	人々の活動を支える都市空間を形成するまち

計画事業	61	ユニバーサルデザイン・ガイドラインの策定と推進
------	----	-------------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない			

### 《協働の視点による評価》

ガイドライン有識者会議に、道路・建築の専門家だけでなく障害者団体・子育て支援センター・高齢者・福祉関係者が入っており、その声が反映できたのが良かった。作成されたガイドラインは、文字が大きくわかりやすく読みやすい構成になっており、今後多くの人に活用されるであろう。

区民や事業者との連携が大切になっていくので、区民や事業者へのガイドラインの普及啓発に十分努められたい。

### 《その他意見》

持ち歩きに便利なサイズの冊子があると普及啓発に有効である。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適切である。

ガイドライン策定後は、それを統合的なまちづくりに活用していくための庁内横断的な推進体制を作り、先進的なユニバーサルデザインのまちづくりを実行してほしい。

これからのまちづくりに期待する。

計画事業	62	交通バリアフリーの整備推進
------	----	---------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない			

## 《その他意見》

バリアフリー化を進めるにあたっては、障害者・高齢者・乳幼児を持つ親等の意見を十分に取り入れてほしい。

また、ユニバーサルデザインとの関連もあり、まちづくりを構成する事業として積極的に推進してほしい。

## 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。

新宿駅・高田馬場駅及び周辺道路のバリアフリー化と新大久保駅のエレベーター設置は、区民に待ち望まれる事業である。交渉相手がある事業なので、進捗は容易ではないと思われるが、区民の期待を担って計画を推進してほしい。

計画事業	63	新宿駅周辺地区の整備推進
------	----	--------------

## 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない

視 点	適当でないとして評価する理由
②適切な目標設定	<p>指標1の「新宿駅周辺地区の整備計画策定及び整備」が具体的ではなく、数値化もされていないため、目標としての明確性に欠ける。</p> <p>また、内部評価の理由欄の記載内容が、この事業の目的を説明していることに留まり、目標設定を適切だと評価する理由を説明していない。</p>
③効果的・効率的な視点	<p>内部評価の理由欄の記載内容は、設計作業や委託調査の必要性を記しているに過ぎない。これらの業務が効果的・効率的に行われているか評価できない。</p>
④目的(目標水準)の達成度	<p>「新宿駅周辺地区の整備計画策定及び整備」について目標値がないので、評価できない。</p>
総合評価	<p>東西自由通路建設計画が発表されてから大分年数が経つが、詳細設計ができ、工事段階に入ったことを評価する。</p> <p>しかし、「新宿駅周辺地区の整備計画策定及び整備」について目標値がないため、達成度を評価できないことから、総合評価においても評価できない。</p>

## 《その他意見》

J R新宿駅の東口・西口駅前広場は、観光立国を目指す日本の首都・東京の中心都市の駅前広場としては、非常に貧弱である。駅前広場は、地権者が国・都・J R東日本と入り組んでおり、進展が容易ではないと想像される。ぜひ、区、都、国土交通省、J R東日本の4者で実現に向けて努力してほしい。特に区が中心となって働きかけを強化することを期待する。

また、回遊性、歩行者の利便性向上は重要だが、地下通路の防災性、避難路の確保等について、鉄道事業者・駅周辺事業者等と連携しながら、計画的に盛り込んでほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は適当である。

新宿駅東西駅前広場の整備については、第二次実行計画に向けた基礎づくりとして、検討及び調整を推進して欲しい。

計画事業	64	高田馬場駅周辺の整備推進
------	----	--------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

## 《4つの視点等への意見》

### ○総合評価

指標3「駅舎の整備推進」については、関係機関との協議調整によることから、指標としての目標が具体的でなく、明確性に欠ける。他方において、中期の改善策もあるということなので、これについても、今後事業の指標に入れることを検討すべきである。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は適当である。

事業者との交渉は容易ではないと想定されるが、区民の利便性向上のために頑張ってもらいたい。

第二次実行計画においては、明確な事業指標や各年度の目標値の設定を求める。

計画事業	65	中井駅周辺の整備推進
------	----	------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。
中井駅周辺の整備に期待する。利用者のために工事期間の短縮は重要であるため、さらなる努力と工夫を期待している。

計画事業	66	自転車等の適正利用の推進
------	----	--------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 《4つの視点等への意見》

#### ○総合評価

指標2の駅周辺の放置自転車台数は、22年度は前年より微増しているため、事業手法を見直し、改善して欲しい。

また、駅周辺の路地や、駅周辺の住宅地への放置が目につくため、駅前以外の対策も並行して実施してほしい。

### 《協働の視点による評価》

駅前に駐輪場を増設することは大変困難であるため、大胆な発想とより一層の創意工夫で、民間の協力も得ながら事業を推進してはどうか。自転車利用のルール、マナーの啓発には、区民ボランティアの活用も有効な手段である。

駅周辺の放置自転車台数を計画どおりに減少させるため、区民に対する啓発活動をさらに徹底させる必要があるのではないかと。歩行者や障害者の安全を確保するために、放置自転車対策をよりいっそう徹底し推進してほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。

放置自転車対策は、手を抜くと元の状態に戻ってしまうことになりかねないので、継続は妥当と考える。しかし、費用対効果面で、区民の評価は年々厳しくなることが想定されるため、第二次実行計画では、路上事業(路上喫煙・放置自転車・繁華街清掃)について、連携・集約に踏み切るべきである。事業手法の改善に期待する。

計画事業	67	地域活性化バスの整備促進
------	----	--------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	□ 効果的 ■ 要改善	□ 達成度が高い ■ 達成度が低い	計画以下	手段改善
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

### 《その他意見》

現在、WEバスは有効に活用されているとはいえないが、駅周辺の回遊性、活性化、住民及び来街者の利便性を図るため、ルートや本数の見直し、周知を継続してほしい。

この他の地域でも、地域の特殊性に応じたバスの要望があると思う。小型、低コスト等実現できる方法で検討してもらいたい。

計画事業	68	都市計画道路の整備(補助第72号線)
------	----	--------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

### 《その他意見》

環境、防災、安全面の改善の観点から、バリアフリーに配慮して、整備事業を進めてほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。

第Ⅰ期区間の事業を進捗させるため、さらなる検討を望む。

計画事業	69	人にやさしい道路の整備
------	----	-------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 《4つの視点等への意見》

#### ○総合評価

計画は達成されているので、さらに高い目標値を設定し、事業を推進してほしい。  
また、③「効果的・効率的な視点」の評価理由については、合理的な記述となるよう工夫を求める。

### 《協働の視点による評価》

道路の整備については、ユニバーサルデザインの視点に立ち、さらに地元と協議して進めてほしい。

### 《その他意見》

きれいに整備された歩道が電気やガスの工事で掘り返され、アスファルトで埋め戻されてみだら模様になって税金の無駄遣いに見えてしまう例がある。このようなことのないよう、きちんと監督されることを希望する。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当でない。

バリアフリー化による歩行者の安全性の向上や、遮熱性舗装によるヒートアイランド化の緩和等は望ましいため、さらなる事業の拡大を求める。

計画事業	70	細街路の整備
------	----	--------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	手段改善
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

《協働の視点による評価》

細街路の整備は、区民との協働が欠かせない事業なので、区民が積極的に協力できるような仕組みづくりをさらに工夫してほしい。

【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適当である。

平成22年度から目標値を0.5kmアップしてはいるが、減災の視点からまず避難所周辺地域を中心に細街路拡幅を急いでほしい。さらに関連事業との連携を強化し、効果的な事業推進手法を工夫して、事業の拡大に積極的に取り組んでほしい。

計画事業	71	まちをつなぐ橋の整備
------	----	------------

【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。

災害時の避難路としても、橋りょうの整備は大変重要である。全橋りょう点検結果に基づいて延命化計画を策定するに当たっては、東日本大震災を踏まえ、耐震性について十分に考慮されたい。

基本目標	V	まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち
個別目標	1	歴史と自然を継承した美しいまち

計画事業	72	景観に配慮したまちづくりの推進
------	----	-----------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画以上	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 《協働の視点による評価》

地域特性に合った景観まちづくりの効果ある推進のためには、地元区民や事業者の理解と協力が欠かせない。経済的、効率的見地からのみ進められることのないよう、今後とも区民等との協働に十分努めてほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。

にぎわいのあるまちづくりと節度ある落ち着いた景観とのバランスに配慮したうえで、地域特性に合った景観がつけられることを期待する。

基本目標	V	まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち
個別目標	2	地域の個性を活かした愛着をもてるまち

計画事業	73	地区計画等を活かした地域の個性豊かなまちづくりの推進
------	----	----------------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	□ 適切 ■ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	□ 達成度が高い ■ 達成度が低い	計画以下	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	□ 適当である ■ 適当でない

視 点	適当でないと評価する理由
最終年度に向け た方向性	事業の達成度が低く、計画以下という内部評価なので、手段改善とすべきではないか。

### 《協働の視点による評価》

住みやすさ、土地の有効活用等、住民の要望を取り入れながら、関連する計画事業72番「景観に配慮したまちづくりの推進」と一体で進めるべきである。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当でない。

評価指標について、第二次実行計画に向け、地区計画だけでなく事業の実態に即したわかりやすい指標の改善を検討するとしている。指標の見直しを図ったうえで、事業手法についても見直してほしい。

基本目標	V	まちの記憶を活かした美しい新宿を創造するまち
個別目標	3	ぶらりと道草したくなるまち

計画事業	75	魅力ある身近な公園づくりの推進
------	----	-----------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 《協働の視点による評価》

平成21年度にできた富久さくら公園は、計画段階から住民が参画し、熱い思いとアイデアをぶつけ合いながらつくられたものと聞く。防災公園として様々な機能を備えているだけでなく、地域のオアシスとして住民に愛されている。こうした公園が増えていくことを希望する。

また、公園サポーター制度の充実を望む。

### 《その他意見》

公園は防災の拠点の役割もあるので、きれいなトイレ・水場の整備に地道に取り組んでほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。

災害時の避難場所にもなることから、公園づくり基本方針に基づき、事業の拡大に取り組んでほしい。

基本目標	VI	多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち
個別目標	1	成熟した都市文化が息づく、魅力豊かなまち

計画事業	76	文化・歴史資源の整備・活用
------	----	---------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	手段改善
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 《その他意見》

東北地方では東日本大震災により多くの文化財が失われている。新宿においても大地震の発生が危惧されており、文化財が失われる恐れがある。震災から貴重な文化財を保護するため、保存事業基金の創設なども検討してほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**拡大**」という方向性(見込み)は適当である。

第一次実行計画では「夏目漱石」がクローズアップされている。

第二次実行計画では、地域活性化の観点から埋もれている地域の文化財の活用について区民と共に考えていってほしい。

計画事業	78	文化体験プログラムの展開
------	----	--------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	手段改善
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない			

### 《協働の視点による評価》

新宿で活動している団体や外国人などとの協働に期待したい。

### 《その他意見》

イベントを企画する際、他団体が同じ時期に類似のイベントを企画していないかなど、事前の調査をしてほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適切である。

「芸術体験ひろば」や「夏休み子ども文化体験プログラム」など、現在実施されている内容については、幅広いプログラムに多数の参加があり高く評価している。

今後は、予算的な問題もあろうが、新宿区という大都市であることを考えれば世界に向かって発信するという観点があっても良いのではないかな。

また、現在は1日限りのイベントが多いようだが、例えば月1回など定期的で開催されるイベントがあっても良いのではないかな。

イベントの内容についてもさらなる充実を期待する。

基本目標	VI	多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち
個別目標	2	新宿ならではの活力ある産業が芽吹くまち

計画事業	80	新宿文化ロードの創出
------	----	------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない			

### 《協働の視点による評価》

区内の企業や学校等との連携に区民目線も加えて事業を深掘りしていることを高く評価する。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適切である。

イベントの開催のみならず産業振興にもなる事業と評価する。

今後はこの特性を活かし、対象地域の拡大や事業効果を生む方向への舵取りを期待する。

計画事業	81	文化芸術の創造性を活かした地域産業の新たな展開への支援
------	----	-----------------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない			

## 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適当である。

産業振興には事業者だけでなく、それを使う消費者ニーズの先取りや意向も要素として取り入れることが重要と考える。関係各課所と連携を密にし、横断的に環境整備をしていくことが望ましい。

第一次実行計画における区内中小企業の経営力の強化など地域産業振興の支援実績を高く評価している。

第二次実行計画への移行にあたって、一部の枝事業を經常事業化することだが、經常事業化の準備が整った枝事業については順次經常事業化していくことが望ましいのではないかと。今後の枝事業の經常事業化のタイミングについて検討してほしい。

基本目標	VI	多様なライフスタイルが交流し、「新宿らしさ」を創造していくまち
個別目標	3	ひと、まち、文化の交流が創るふれあいのあるまち

計画事業	82	新宿の魅力の発信
------	----	----------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	手段改善
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 〈協働の視点による評価〉

歩きたくなるまち新宿観光案内所や新宿街歩きガイド運営協議会と連携することについては高く評価する。

これに加えて例えば「かたりべ」の実施など地域のボランティア活動などを活かした協働を検討して行ってほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**拡大**」という方向性(見込み)は適当である。

観光は地域の活性化や産業振興にもなり、多くの事業をつなぐ役割を持っている。「国際都市」新宿の観光という、重要な事業の拡大に期待する。

計画事業	83	歌舞伎町地区のまちづくり推進
------	----	----------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 効果的 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない

視 点	適当でない評価する理由
①サービスの負担と担い手	区長の強いリーダーシップのもとに歌舞伎町浄化活動が推進していることを評価するが、歌舞伎町のまちづくりの主体は、あくまでも地区の商店街であるべきである。

②適切な目標設定	新たな指標を追加してあるが、安全についての指標については、区政モニターアンケートのみで以前と現在の歌舞伎町を比較できるか、また、夜の歌舞伎町について、この評価が適当であると言えるか等の疑問もあるため、さらに検討してほしい。
④目的(目標水準)の達成度	放置自転車の台数が目標に及ばず、文化の発信やにぎわいの創出の割合も、目標には達しているが低水準であるため、課題を残している。
総合評価	歌舞伎町を健全な大衆文化の発信地に変えるという大胆な企画に対し、歌舞伎町ルネッサンス推進協議会の成果も徐々に表れ、コマ劇場跡地の再開発計画も見通しがついた。粘り強い努力は評価に値するが、目標の達成度が高いとはいえないため、計画どおりとはいえない。
最終年度に向けた方向性	放置自転車対策や新たな文化の創造、にぎわいづくりについて課題があるので、手段改善とすべきではないか。

### 《協働の視点による評価》

歌舞伎町ルネッサンスには、より多くの民間の担い手を巻き込んで展開していくべき事業なので、さらに多くの民間の参加の働きかけが必要である。さらに努力してほしい。

### 《その他意見》

大久保公園の利用度が低いため、さらなる工夫が必要である。

まちの浄化には、毅然とした態度で、地道に活動の継続を願う。今後の取組みに期待する。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当でない。

今後も関係行政機関、地元住民、事業者が連携して推進する必要があることから、さらなる手法の工夫が求められる。手段改善が相当ではないか。

歌舞伎町地区の安全や環境美化、文化発信、賑わい等、同地区のまちづくりの成果を客観的な数値で示す具体的な事業指標を検討すべきである。

計画事業	84	商店街活性化支援
------	----	----------

### 【評価】

視点区分	①サービスの負担と担い手	②適切な目標設定	③効果的・効果率的な視点	④目的(目標水準)の達成度	総合評価	最終年度に向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま継続
内部評価に対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input type="checkbox"/> 適当である <input checked="" type="checkbox"/> 適当でない			

視 点	適当でない評価する理由
最終年度に向けた方向性	<p>新宿区の商店街においても、ライフスタイルの多様化、後継者不足などにより生鮮食料品を中心とした店舗数が減少するなど様々な課題を抱えている。さらに、東日本大震災により区民の防災意識が高まり、地域に密着している商店街の役割や重要性も再認識された。</p> <p>今、まさに商店街の活性化支援は急務であると考え、この機を捉え防災上の視点も加えた改善策を速やかに検討し、実施してほしい。</p>

#### 《協働の視点による評価》

地域の生活者が商店街の役割を理解し、町会や自治会活動との連携を深めるなど、自らの生活基盤づくりとして事業に参画することの出来るような仕組みが必要と考える。

#### 《その他意見》

商店会の大型店舗や外食産業等のチェーン店に対する加入促進の取組について、区のさらなる支援に期待する。

#### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適当である。
商店街が活性化することは、昨今のデフレ下での雇用創出、地域防災、生活環境面の整備など幅広い課題解決に有効である。
商店街が持つ今日的な役割に即した事業内容に進化させてほしい。

計画事業	85	平和啓発事業の推進
------	----	-----------

#### 【評価】

視点区分	①サービスの負担と担い手	②適切な目標設定	③効果的・効率的な視点	④目的(目標水準)の達成度	総合評価	最終年度に向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま継続
内部評価に対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

#### 《4つの視点等への意見》

##### ○総合評価

戦争体験者が少なくなり、若い世代に対する平和啓発は重要であり、それに対して真摯に事業を行っているものと評価する。

#### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。
戦後65年が経過し、戦争の記憶の風化により区民の平和に関する認識が薄くなってきている状況において、本事業の取組は重要であり、新宿区と新宿区民の見識を示す事業として発展継続して欲しい。

計画事業	86	地域と育む外国人参加の促進
------	----	---------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	事業拡大
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 《4つの視点等への意見》

#### ○総合評価

第一次実行計画の期間において外部評価委員会の意見を活用して、「国際交流支援の拠点」という多文化共生プラザの位置づけが明確化され、それに伴い新たな指標を設定するなど、事業が年々改善されており、この点を高く評価する。

### 《その他意見》

文化の違いなどから、地域住民として守らなければならないルールを理解できていない外国の人もいる。この視点からも、関係各課と連携しながら多文化共生を推進し、お互いが気持ちよく住める社会の実現を目指してほしい。

新宿区は多くの外国人が住んでいる。国際都市として在住外国人から新宿の魅力を世界に発信してもらうことは、観光事業などにも役立つ。この視点からも本事業には期待している。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「 <b>拡大</b> 」という方向性(見込み)は適当である。
本事業は年々改善されている。
今後も内部評価にもある通りアウトカムの指標を取り入れることを検討するなど引き続き前進して行ってほしい。
今後拡大される事業に大いに期待する。

基本目標	I	好感度一番の区役所の実現
個別目標	1	窓口サービスの利便性の向上

計画事業	89	区政情報提供サービスの充実
------	----	---------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**その他(調査・検討)**」という方向性(見込み)は適当である。

東日本大震災の経験などを踏まえて、災害等緊急時の情報発信方法など区としての情報発信のあり方を検討してほしい。

基本目標	I	好感度一番の区役所の実現
個別目標	2	区民参画の推進と効果的・効率的な事業の遂行

計画事業	92	行政評価制度の確立
------	----	-----------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	手段改善
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

### 《4つの視点等への意見》

#### ○総合評価

新宿区においては、内部評価制度はすでに定着し、また外部評価についても4年にわたる仕組みの開発と実証段階を経て行政評価ツールとして活用されている。

第二次実行計画に向けて行政評価手法のさらなる見直しを行い、より効果的・効率的な評価手法を検討してほしい。

### 《協働の視点による評価》

区民による外部からの視点を入れた行政評価手法については高く評価する。

多様な視点から評価が行えるように、外部評価委員の選任方法や評価手法の改善など不断の工夫をしてほしい。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。

全庁的に評価制度は定着したが「評価の文化」が定着したとはまだ言えない。

第二次実行計画では、新たに実施する「経常事業」及び今回評価対象に加わった「計画事業(区政運営編)」に対する外部評価のあり方について、平成20年度から実施している「計画事業(まちづくり編)」と同程度の定着化を目指すことが喫緊の課題である。区民サービスの向上と適正な区政運営を目指して引き続き努力してほしい。

基本目標	I	好感度一番の区役所の実現
個別目標	3	分権を担える職員の育成と人事制度等の見直し

計画事業	95	人材育成センターの開設による分権時代にふさわしい職員の育成
------	----	-------------------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	事業拡大
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

### 《協働の視点による評価》

現場主義を身に付けさせるための、区民の参画を取り入れた手法の開発が必要ではないか。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「手段改善」という方向性(見込み)は適当である。

分権化時代に向けて、独自の企画立案に係る提案力や法務能力を備えた人材の養成拡大は必要である。

また、現場を大切に作る職場風土から分権化時代への対応は拓ける。現場課題の解決を通じて、能力を開発するとともにセンター自体もノウハウを蓄積して行ってほしい。

計画事業	96	新宿自治創造研究所の設置による政策形成能力の向上
------	----	--------------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	手段改善
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

## 《4つの視点等への意見》

### ○総合評価

現在の事業内容については評価できる。

基礎的研究を積み重ねる一方で、区民目線で政策形成に役立っていることがわかるような、単年度で成果の見える研究（カレントトピックス）を積み上げることで組織としての評価が高まる。

このような視点から第一次実行計画の取りまとめをしてほしい。

## 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は適当である。

いわゆる「庁内シンクタンク」は、他自治体では廃止された例もあり、財政事情に左右されがちであるが、職員の政策議論のプラットフォームとなるよう、継続して欲しい。

基本目標	II	公共サービスのあり方の見直し
個別目標	1	公共サービスの提供体制の見直し

計画事業	99	児童館における指定管理者制度の活用
------	----	-------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない

### 《その他意見》

指定管理者制度を児童館に導入したことによる、柔軟で効率的なサービスや民間のアイデアを生かした運営を期待する。

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適切である。

指定管理者である、民間企業への労働環境モニタリングは、職員の労働環境の適正化を図ることでサービスの質の向上につながるため、効率的であることは理解できるが、利用者である子どもに対して、どのようなサービスの向上が図られているかを明らかにしていくことが必要である。

計画事業	100	シニア活動館における指定管理者制度の活用
------	-----	----------------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない	■ 適切である □ 適切でない

## 《4つの視点等への意見》

### ○総合評価

指定管理者制度導入後、民間事業者による利用者の意向を取り入れたプログラムが展開されるようになったことは評価できる。

## 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は適当である。

利用者側の視点で多様なサービス提供がされ、一層の活性化が期待できる。

ただし、現状では、シニア世代の参加を促進する具体的な方策が見えない。区民レベルの感覚で理解できるような手順と方法を構築し、実践することが重要である。

シニア世代の参加を促進されるような魅力ある事業展開を期待する。

計画事業	101	地域交流館における指定管理者制度の活用
------	-----	---------------------

## 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

## 《4つの視点等への意見》

### ○総合評価

指定管理者制度導入により、利用者の意向を聴取するなどニーズの把握に努め、新しい事業展開をしている。柔軟なサービスの提供がされている様子が伺える。

また、利用者のアンケート回答で見られるように、運営面や事業展開で好評を得ており評価できる。

## 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「**継続**」という方向性(見込み)は適当である。

今まで指定管理者制度を導入した地域交流館は、サービスの向上が図られている。

第二次実行計画期間内に設置する地域交流館についても、指定管理者制度を導入し、運営の効率化を図るとともに、サービスが向上されることを期待する。

計画事業	104	児童館・ことぶき館用務業務の見直し
------	-----	-------------------

【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない			

【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適切である。

業務の効率化と経費の削減を図るとともに、区民サービスが向上することを期待する。

計画事業	105	保育園用務業務の見直し
------	-----	-------------

【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input type="checkbox"/> 達成度が高い <input checked="" type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない			

【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適切である。

業務の効率化と経費の削減を図るとともに、区民サービスが向上することを期待する。

計画事業	106	学校給食調理業務の民間委託
------	-----	---------------

**【評価】**

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適当である <input type="checkbox"/> 適当でない			

**【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】**

内部評価における「 <b>継続</b> 」という方向性(見込み)は適当である。
多様な給食のメニューの導入や質の向上が図られることを期待する。

基本目標	II	公共サービスのあり方の見直し
個別目標	2	施設のあり方の見直し

計画事業	107	施設の機能転換
------	-----	---------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない			

### 【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「拡大」という方向性(見込み)は適切である。
区民のニーズに対応し、サービスの向上を図りつつ、業務の効率化や経費削減が図られることを期待する。

計画事業	116	戸塚小売市場廃止後の活用
------	-----	--------------

### 【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 効果的 <input type="checkbox"/> 要改善	<input checked="" type="checkbox"/> 達成度が高い <input type="checkbox"/> 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 適切でない			

### 《その他意見》

移転後日が浅いこともあり、広く区民に知られていない。「西早稲田リサイクル活動センター」の看板を目立つところに設置するなど、周知に力を入れてほしい。

計画事業	121	リサイクル活動センターの機能充実
------	-----	------------------

【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

《協働の視点による評価》

住民等との協働が良く機能して、成果を挙げている。

整備された施設が区民に周知され、十分に活用されてリサイクルの活動機能が拡充できるよう、今後さらに利用関連団体と協力して工夫してほしい。

【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。

新しいリサイクル活動センター建設完了後の運営に当たっては、利用者のニーズを踏まえ、住民等関係者の参画・協力を得て、さらに効果的に行ってほしい。

計画事業	129	中長期修繕計画に基づく施設の維持保全
------	-----	--------------------

【評価】

視点 区分	①サービスの 負担と担い手	②適切な 目標設定	③効果的・効 率的な視点	④目的(目標水 準)の達成度	総合評価	最終年度に 向けた方向性
内部評価	■ 適切 □ 要改善	■ 適切 □ 要改善	■ 効果的 □ 要改善	■ 達成度が高い □ 達成度が低い	計画どおり	現状のまま 継続
内部評価に 対する評価	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない	■ 適当である □ 適当でない

【第二次実行計画の方向性(平成23年6月現在の内部評価)に対する意見】

内部評価における「継続」という方向性(見込み)は適当である。

区民のニーズを十分に踏まえ、計画的な予防保全工事をタイムリーに実施してほしい。  
また、必要な耐震性の増強にも着実に取り組んでほしい。

### 第3章 今後のあり方

今年度の計画事業（まちづくり編、区政運営編）の外部評価の作業を終えて、各委員から出された課題および今後のあり方について述べる。

#### 1 計画事業の評価を通じて浮かび上がった課題と委員の意見

##### (1) 計画事業及び内部評価について

- ① 公園等のトイレの設置に関する事業は、「計画事業 43 道路・公園の防災性の向上」「計画事業 52 清潔できれいなトイレづくり」「75 魅力ある身近な公園づくりの推進」の 3 事業がある。また、道路の防災面に関して、「計画事業 43 道路・公園の防災性の向上」「計画事業 44 道路の無電柱化整備」「計画事業 70 細街路の整備」の 3 事業がある。このような関連事業がある場合、東日本大震災を受け、防災上の視点を入れて整理して考えた方がよい。
- ② 道路上の放置自転車対策、喫煙対策、清掃等については、地域への委託や協力等、総合的に対応することによってコストパフォーマンスが高くなるのではないかと昨年から指摘しているが、所管別に事業が進められているという実態がみられる。また、都市整備領域における景観事業やユニバーサルデザイン事業においても、同様の地域的な連携や関係課の綿密な連携が求められる。
- ③ 計画事業名が具体的な事業内容を表していないものがある。たとえば、「計画事業 14 確かな学力の育成」は、確かな学力の定義が内部評価では明記されていないため、事業目的、評価基準があいまいで整合性がとれず、評価が困難だった。
- ④ 区政運営編の事業において、指定管理者制度の活用に関する事業が複数あり（計画事業 98～102）、これらは、指定管理者制度の導入そのものが事業目標になっている。内部評価においては、指定管理者制度導入により、利用者に対するサービスの内容がどのように向上したかについても明らかにしていくことが必要である。

##### (2) 外部評価について

- ① アウトカム指標の必要性については以前から指摘しているが、その設定は大変難しい。そこで、今後、所管課だけでなく、外部評価委員会としても、このことについて調査研究する必要があると考える。
- ② 外部評価は、内部評価結果に対し、区民の目線で評価するということになっているが、内部評価に書かれていない事柄について、区民としての生活実感や活動の経験からの評価となる場合もあった。区民目線の評価ということと評価の連続性の問題も含め、外部評価の手法に関わる問題として、今後考えて行く必要がある。
- ③ ヒアリングは限られた時間で効率的に行う必要がある。前年度の経緯等を含

めて詳細に現場の実務について尋ねる場合もあるため、実務担当者の同席などが積極的に求められる。

- ④ 現場視察は、現場の職員や直接区民の声を聞くことができるので大変重要と考えているが、日程上の確保がなかなか難しい。今後の工夫が必要である。
- ⑤ 所管課が主管している個別の評価委員会等で事業評価を行っている場合、当外部評価委員会の評価結果を反映することが困難なケースも見受けられる。その場合における外部評価のあり方について、今後整理する必要がある。

### (3) 外部評価を踏まえた事業の見直しについて

- ① 外部評価で指摘事項があったにもかかわらず、内部評価の記述や表現が、例年同じものがある。前年の外部評価や区長の総合判断を反映させた内部評価をするとともに、外部評価委員会の指摘に対しては、スピード感をもって真摯に対応して欲しい。
- ② 行政評価の必要性や外部評価に対する理解に関して、担当課にかなりの温度差がある。外部評価の意義を再度徹底して欲しい。

## 2 第二次実行計画策定に向けて

### (1) 東日本大震災の教訓をふまえた計画事業体系の見直しについて

今回の大震災は直接的被害を受けた東北地方のみならず、首都圏ならびに新宿区にとっても、交通機関の麻痺に伴う帰宅困難者、停電に伴うエレベーター停止によるマンション高層階での生活孤立等大都市ならではの課題が明らかになった。さらに近い将来には東京直下型の地震も予想されている中で、第二次実行計画においては、防災および減災に関する計画事業の緊急性が極めて高い。これまでも様々な事業が実施されてきているが、計画体系上よりいっそうわかりやすい構成とその推進のための体制整備が求められる。

### (2) 評価を前提にした計画事業の設定について

計画事業には、具体的な事業指標が数値目標として提示されており、毎年その数値目標が達成されたかどうかは内部評価によって報告されている。しかし、ひとつの計画事業に数項目の指標が提示されているため、ある指標が100%達成されていても、別な指標が30%しか達成されない場合、事業全体としての目標はどの程度達成されたのかを評価することは大変難しい。この点、内部評価では比較的甘い評価になる傾向が強い。内部評価においては、指標の達成水準を踏まえたうえで、事業目的や意図する成果に対する達成度を評価し、さらにその評価の理由をきちんと説明すべきである。

また、アウトカム指標の設定については、まだ研究途上だが、第二次実行計画における計画事業の策定にあたっては、できる限りアウトカム指標の設定に努力してほしい。

さらに、これまでの計画事業名は、事業の目的および指標とあまりにもかけ離

れているケースが見られるので、ぜひ再検討をお願いしたい。

### (3) 連携、横断的な取り組みの必要性について

事業運営が縦割りのため、内部評価も縦割りの評価、という事例が見られる。事業推進上縦割りもある程度必要ではあるが、外部評価では横の連携を提案している事例もいくつかあるので、個別の事業を全区的な立場から見るように心がけてもらいたい。また、現在ひとつの事業であってもその事業に複数課が共同して関わることによって複合効果や相乗作用が生まれるものがある。たとえば公園の整備事業では、計画作成のプロセスの工夫をする事によって、子どもの教育、高齢者の生きがい対策、ひいてはコミュニティ推進施策にも価値のある事業となる。このように関係課が連携することによって、コストパフォーマンスが極めて高くなる可能性のある事業は数多い。限られた予算の効率的配分という立場からも、第二次実行計画の推進にあたり、施策の連携とそれを実現するダイナミックな運営体制に期待したい。

### (4) 「計画評価の文化」の定着へ

新宿区では、事業の「計画」、「実行」、「評価」、「見直し」、「再計画」という循環プロセス中の「評価」に、行政評価の手法を取り入れ、かつ区民委員も参加した外部評価を導入することにより区政の透明化を図っている。これまでの4年間において「評価」は内部評価と外部評価を含めて次第に定着しつつあるが、評価を踏まえた事業の見直し、および再計画に関しては、まだ定着したとはいえない。もちろん日常的なルーティンワークの中での「見直し」という作業は、時間も知恵も必要なことで、大変難しいことは承知している。そういった意味では、今回の外部評価結果報告書では、平成22年度の事業評価と共に、これまでの外部評価を踏まえて第二次実行計画の策定に向けた意見も記述している。この外部評価結果報告書を活用して、これまでしっかりと見直しが難しかった事業に関しても、この第二次実行計画の策定という重要な節目に「見直し」を踏まえた「再計画」を、「変えることへの勇気」を持って実施して欲しい。

# <資料>

1 新宿区外部評価委員会委員名簿

	氏名		
第1部会 まちづくり 環境 みどり	卯月 盛夫	早稲田大学社会科学総合学院 教授	会長 部会長
	大塚 巖	新宿区防災サポーター連絡協議会	
	須貝 俊司	区 民	
	芳賀 恒之	区 民	
	渡辺 翠	新宿区のリサイクルを考える会	
第2部会 福祉 子育て 教育 暮らし	岡本 多喜子	明治学院大学社会学部社会福祉学科 教授	部会長
	入江 雅子	戸山公園子どもの遊び場を考える会	
	小菅 知三	牛込心友会高齢者クラブ 会長	
	富井 敏弘	区 民	
	山村 利枝	区 民	
第3部会 自治 コミュニティ 文化 観光 産業	名和田 是彦	法政大学法学部政治学科 教授	副会長 部会長
	川俣 一弥	新宿区町会連合会 副会長	
	中原 純一	区 民	
	鍋島 照子	区 民	
	山下 修	神楽坂通り商店会	

## 2 新宿区外部評価委員会条例

平成 19 年 6 月 21 日

条例第 45 号

改正 平成 20 年 3 月 19 日条例第 1 号

(目的及び設置)

第 1 条 行政評価の客観性及び透明性を高めるとともに、区民の行政評価に対する参画の機会を確保するため、区長の附属機関として、新宿区外部評価委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(定義)

第 2 条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。

(1) 行政評価 新宿区(以下「区」という。)が実施する施策及び事業について、区長が別に定める成果指標等を用いることにより、その達成度、効率性、成果、妥当性等を分析し、及び検証することをいう。

(2) 外部評価 区の機関(議会を除く。)が実施した行政評価の結果を踏まえ、当該行政評価の対象となった施策及び事業について、その達成度、効率性、成果、妥当性等を区民の視点に立って分析し、及び検証することをいう。

(委員会の所掌事務)

第 3 条 委員会は、次に掲げる事務を所掌する。

(1) 外部評価を実施し、その結果を区長に報告すること。

(2) その他行政評価に関し必要な事項について、区長の諮問に応じて調査し、審議し、答申すること。

(組織)

第 4 条 委員会は、次に掲げる者につき、区長が委嘱する委員 15 人以内をもって組織する。

(1) 学識経験を有する者 3 人以内

(2) 区民 6 人以内

(3) 区内各種団体の構成員 6 人以内

(委員の任期等)

第 5 条 委員の任期は 4 年以内とする。

2 委員に欠員が生じた場合における補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(委員の解職)

第 6 条 委員が次の各号のいずれかに該当する場合には、区長は、その職を解くことができる。

(1) 心身の故障のため職務の遂行に堪えないと認められるとき。

(2) 委員としてふさわしくない行為があると認められるとき。

(会長及び副会長)

第7条 委員会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選により定める。
- 3 会長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第8条 委員会は、会長が招集する。

- 2 委員会は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、会長が決するところによる。

(部会)

第9条 委員会は、調査及び審議の効率的な運営を図るため、部会を置くことができる。

- 2 部会は、会長の指名する委員をもって組織する。
- 3 部会に部会長を置き、当該部会に属すべき委員のうちから会長がこれを指名する。
- 4 部会長は、部会を招集し、部会の事務を総括し、並びに部会の調査及び審議の経過並びに結果を委員会に報告する。

(委員以外の者の出席等)

第10条 委員会及び部会は、必要があると認めるときは、委員以外の者の出席を求め、その意見若しくは説明を聴き、又は委員以外の者に必要な書類の提出を求めることができる。

(庶務)

第11条 委員会の庶務は、総合政策部行政管理課が担当する。

(平成20年条例第1号・一部改正)

(公表)

第12条 区長は、第3条第1号の規定による報告を受けた外部評価の結果を公表するものとする。

(委任)

第13条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、区長が別に定める。

(平成20年条例第1号・一部改正)

附 則

[以下 略]

**平成 23 年度 外部評価実施結果報告書**

**【 計 画 事 業 評 価 】**

～「新しい計画評価の文化」  
の共有と定着に向けて～

印刷物作成番号  
2011 - 6 - 2102

発行年月 平成 23 年 9 月

編集・発行 **新宿区外部評価委員会**

事務局 新宿区総合政策部行政管理課 電話 03-5273-4245 (直通)

東京都新宿区歌舞伎町一丁目 4 番 1 号

新宿区は、環境への負担を少なくし、未来の環境を創造するまちづくりを推進しています。

古紙配合率 70%

白色度 70%再生紙を使用しています。

本誌は森林資源の保護とリサイクルの促進のため、古紙を利用した再生紙を使用しています。